

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

令和5年 がん研発 第025 号
令和 5年 10月 5日
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会 有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
氏名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
電話(03) 3520 - 0111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有	
内科と組み合わせた診療科名等					
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績					

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科		2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	乳腺内科	2	腫瘍内科	3	疼痛緩和内科	4	形成外科	5	頭頸部外科
6	病理診断科	7	脳腫瘍外科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0	0	0	0	686	686

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	375	23.7	398.7	看護補助者	57	診療エックス線技師	0
歯科医師	6	2.4	8.4	理学療法士	7	臨床検査技師	90
薬剤師	71	0.8	71.8	作業療法士	2	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	2	その他	0
助産師	0	0	0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	830	4.1	834.1	臨床工学士	12	医療社会事業従事者	12
准看護師	2	0	2	栄養士	0	その他の技術員	68
歯科衛生士	4	0	4	歯科技工士	0	事務職員	280
管理栄養士	17	0	17	診療放射線技師	86	その他の職員	62

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	26	眼科専門医	1
外科専門医	84	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	0	放射線科専門医	19
小児科専門医	0	脳神経外科専門医	3
皮膚科専門医	2	整形外科専門医	6
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	35
産婦人科専門医	21	救急科専門医	4
		合計	224

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐野 武) 任命年月日 2018 年 7 月 1 日

医療安全管理委員会 委員
 2016年 7月 1日 ~ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	521.6 人	0 人	521.6 人
1日当たり平均外来患者数	1800.4 人	43.8 人	1844.2 人
1日当たり平均調剤数	1471.5		剤
必要医師数	155.220		人
必要歯科医師数	3		人
必要薬剤師数	19		人
必要(准)看護師数	323		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	10 床	心電計	有
集中治療室	422.31 m ²	SRC	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	209.89	m ²	病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	0	台	ペースメーカー	有
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	47.06		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	416.7 m ²	SRC	(主な設備)	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R、US-3100R、FOBIT-WAKO		
細菌検査室	78.25 m ²	SRC	(主な設備)	マイクロスキャンWalkAway96、コバスタqMan48		
病理検査室	378 m ²	SRC	(主な設備)	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シーケンサー(Sanger型)など		
病理解剖室	72.25 m ²	SRC	(主な設備)	写真診断装置、ストライカーなど		
研究室	1519 m ²	SRC	(主な設備)	遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど		
講義室	370 m ²	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38 m ²	SRC	室数	1 室	蔵書数	22000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	90	%	逆紹介率	85.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		9,486		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,805		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		842		人
	D: 初診の患者の数		11,472		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属 病院 患者安全推進部 教授	○	医療安全に関する業務 従事経験および研究へ の従事経験を有するた め。	無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育 研究センター教授		法曹資格を有し、医療 安全に関する研究を 行っているため。	無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務め ており、医療を受ける者 の立場の代表として。	無	2(医療を受ける者)

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 公益財団法人がん研究会有明病院ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	重症筋無力症	1	56		
2	神経線維腫症	11	57		
3	パージャール病	1	58		
4	全身性エリテマトーデス	3	59		
5	シェーグレン症候群	2	60		
6	筋ジストロフィー	1	61		
7	特発性血小板減少性紫斑病	3	62		
8	下垂体前葉機能低下症	1	63		
9	原発性硬化性胆管炎	1	64		
10	原発性胆汁性肝硬変	1	65		
11	クローン病	1	66		
12	潰瘍性大腸炎	15	67		
13	IgG4関連疾患	1	68		
14	骨軟化症	1	69		
15			70		
16			71		
17			72		
18			73		
19			74		
20			75		
21			76		
22			77		
23			78		
24			79		
25			80		
26			81		
27			82		
28			83		
29			84		
30			85		
31			86		
32			87		
33			88		
34			89		
35			90		
36			91		
37			92		
38			93		
39			94		
40			95		
41			96		
42			97		
43			98		
44			99		
45			100		
46			101		
47			102		
48			103		
49			104		
50			105		
51			106		
52			107		
53			108		
54			109		
55			110		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	14
合計患者数(人)	43

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準
歯科外来診療環境体制加算1
特定機能病院入院基本料 7:1
救急医療管理加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1 30:1
急性期看護補助体制加算 25:1—夜間100対1 急性期看護補助体制加算
—夜間看護体制加算
看護職員夜間配置加算 12:1配置加算1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算1
無菌治療室管理加算2
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)
緩和ケア診療加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染対策向上加算1
患者サポート体制充実加算
報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
後発医薬品使用体制加算3
病棟薬剤業務実施加算1
病棟薬剤業務実施加算2
データ提出加算2及び4
入退院支援加算1—入院時支援加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算

特定集中治療室管理料3—早期離床・リハビリテーション加算

—早期栄養介入管理加算

緩和ケア病棟入院料1

看護職員処遇改善評価料62

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
小児運動器疾患指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料
夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料1
連携充実加算
療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
がん治療連携計画策定料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子の診療情報評価料
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
歯科治療時医療管理料
遺伝学的検査
BRCA1/2遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
検体検査管理加算(I)
検体検査管理加算(IV)
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算

遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ロービジョン検査判断料
画像診断管理加算1
画像診断管理加算2
ホントロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
乳房MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
がん患者リハビリテーション料
リンパ浮腫複合的治療料
集団コミュニケーション療法料
歯科口腔リハビリテーション料2
硬膜外自家血注入
導入期加算1
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
センチネルリンパ節加算
自家脂肪注入
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法

乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、 腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後 腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎 部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪 性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)) 及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術

腹腔鏡下痔頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
輸血管理料Ⅰ
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
麻酔管理料(Ⅰ)
麻酔管理料(Ⅱ)
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療(IMRT)
画像誘導放射線治療(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算

デジタル病理画像による病理診断
病理診断管理加算2
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助/委託	補助元又は委託元
1	遺伝子組み換え麻疹ウイルスを用いた抗がんウイルス療法の臨床研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	13,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
2	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	阿江啓介(分担)	有明病院 整形外科	300,000	委	AMED委託費(革新的がん)
3	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	500,000	委	AMED委託費(革新的がん)
4	単一細胞マルチオミクス解析による悪性リンパ腫の腫瘍細胞と微小環境の多様性の網羅的解明	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	2,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
5	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	大野真司(分担)	有明病院	1,200,000	委	AMED委託費(革新的がん)
6	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性獲得に関わる分子基盤の探索	丸山大	有明病院 血液腫瘍科	9,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
7	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	丸山大(分担)	有明病院 血液腫瘍科	1,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
8	MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第Ⅰ相試験	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発科	800,000	委	AMED委託費(革新的がん)
9	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	徳増健二(分担)	有明病院 放射線治療部	240,000	委	AMED委託費(革新的がん)
10	臨床病期Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	渡邊雅之(分担)	有明病院	100,000	委	AMED委託費(革新的がん)
11	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究(フォローアップ)	水柿秀紀(分担)	有明病院 先端医療開発科	300,000	委	AMED委託費(革新的がん)
12	前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-Indexに対する前臨床試験	植田 幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	19,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
13	切除不能進行・再発大腸がんを対象としたタンキラーゼ阻害剤の医師主導第Ⅰ相試験	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	35,020,570	委	AMED委託費(革新的がん)
14	リンパ節T細胞の単一細胞TCR・遺伝子発現解析とがん免疫療法への応用	清谷一馬	がんプレジジョン医療研究センター 免疫ゲノム解析グループ	16,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
15	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋学(分担)	有明病院 消化器センター 消化器外科 胃外科	100,000	委	AMED委託費(革新的がん)
16	非浸潤性乳管癌(DCIS)に対する有効かつ安全な患者 QOL の向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験	原文堅(分担)	有明病院 乳腺センター	300,000	委	AMED委託費(革新的がん)
17	高齢者HER2 陽性進行乳癌に対する T-DM1療法とペルツスマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	原文堅(分担)	有明病院 乳腺センター	500,000	委	AMED委託費(革新的がん)
18	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	寺内隆司(分担)	有明病院 画像診断センター	1,000,000	委	AMED委託費(革新的がん)
19	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人(分担)	有明病院 消化器内科 肝胆膵内科	1,500,000	委	AMED委託費(革新的がん)
20	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	布部創也(分担)	消化器センター 消化器外科 胃外科	200,000	委	AMED委託費(革新的がん)
21	研究開発課題名: Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	福島啓文(分担)	有明病院頭頸科	700,000	委	AMED委託費(革新的がん)
22	進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第Ⅱ相試験	秋吉高志	有明病院 大腸外科	7,100,000	委	AMED委託費(革新的がん)
23	難治性がん(白血病等)の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に関する研究	竹内賢吾(分担)	がん研究所分子標的病理プロジェクト	457,476	委	AMED委託費(革新的がん)
24	全ゲノム情報を患者に還元するためのゲノム・臨床情報基盤の研究	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発科	1,500,000	委	AMED委託費(革新的がん)

25	乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対する スマホ精神療法の開発：革新的な分散型基盤を 用いた多機関共同無作為割付比較試験	大野真司(分担)	有明病院 乳腺センター	200,000	委	AMED委託費(革新的がん)
26	がんの本態解明から革新的な医療実用化に向け た一貫したマネジメントスキームの確立研究	中武真由香(分担)	がん研究所 所長研究室	500,000	委	AMED委託費(革新的がん)
27	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元を 通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	上野貴之	有明病院 先端医療開発 センター がんゲノム医療 開発部	211,500,800	委	AMED委託費(革新的がん・ 全ゲノム)
28	全ゲノム解析による難治性卵巣がんの本態解明と 新規治療標的の同定	森誠一	がんプレジジョン医療研 究センター 次世代がん 研究シーズ育成プロジェ クト	80,930,731	委	AMED委託費(革新的がん・ 全ゲノム)
29	難治性呼吸器腫瘍等の全ゲノム配列データおよび 臨床情報等の収集と解析に関する研究	片山量平(分担)	がん化学療法センター基 礎研究部	37,520,000	委	AMED委託費(革新的がん・ 全ゲノム)
30	オールジャパン体制による食道がん等消化器難治 がんの全ゲノム配列 データ及び臨床情報の収集・解析と創薬開発・全 ゲノム医療基盤構築	渡邊雅之(分担)	有明病院 消化器外科	30,108,000	委	AMED委託費(革新的がん・ 全ゲノム)
31	個体の機能低下を引き起こす細胞老化の不均一 性の解明	高橋暁子	がん研究所 細胞老化プ ロジェクト	13,428,150	委	AMED委託費(厚労系他)
32	慢性炎症を背景とした肝発癌の機序解明と肝癌高 危険群の囲い込み法の開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所・がんエピゲ ノムプロジェクト	3,000,000	委	AMED委託費(厚労系他)
33	BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に 対する個別化周術期治療の医師主導試験の実施	篠崎英司(分担)	有明病院 消化器化学療 法科	1,000,000	委	AMED委託費(厚労系他)
34	PI3K 阻害剤のプロドラッグ化による新規肉腫治療 薬開発に関する研究	旦慎吾	がん化学療法センター分 子薬理部	66,653,847	委	AMED委託費(厚労系他)
35	切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結 腸直腸癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用 いた根治治療の有効性・安全性を検討する研究	秋吉高志(分担)	有明病院 大腸外科	3,000,000	委	AMED委託費(厚労系他)
36	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法 に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設 共同医師主導試験	温泉川真由(分担)	有明病院 婦人科	200,000	委	AMED委託費(厚労系他)
37	新規培養技術を用いた、扁平腺接合部細胞におけ る高悪性度HPV18型の潜伏持続感染および発癌 機構の解明	清谷一馬(分担)	がんプレジジョン医療研 究センター 免疫ゲノム解 析グループ	500,000	委	AMED委託費(厚労系他)
38	日・リトアニアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特 徴の比較検討及び乳房MRIによる早期乳癌の検出 能に関する研究	大野真司(分担)	有明病院	250,000	委	AMED委託費(厚労系他)
39	患者層別化マーカー探索技術の開発／ がん免疫モニタリングによる患者層別化を行う基 盤技術の開発	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発 科	11,000,000	委	AMED委託費(厚労系他)
40	進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体との TM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	吉野公二(分担)	有明病院 皮膚腫瘍科・ 皮膚科	3,990,800	委	AMED委託費(厚労系他)
41	思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後 における子宮頸癌の HPV16/18 陽性割合の推移に 関する疫学研究	金尾祐之(分担)	有明病院 婦人科	500,000	委	AMED委託費(厚労系他)
42	グアニン四重鎖によるゲノム機能制御機構を標的 としたがん治療薬の開発	清宮啓之	がん化学療法センター分 子生物治療研究部	6,500,000	委	AMED委託費(次世代がん)
43	脂質メディエータ受容体を標的とした骨肉腫の増 殖・転移を阻害する新治療法の開発	高木聡	がん化学療法センター基 礎研究部	20,969,231	委	AMED委託費(次世代がん)
44	糖鎖プロファイリング技術を基盤とした免疫チェッ クポイント阻害剤効果予測モデルの確立を目指した 研究	芳賀淑美	がんプレジジョン医療研 究センター	5,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
45	次世代がん医療加速化研究事業における先進的 技術支援と効率的推進マネジメント	野田哲生	がん研究所	991,500,000	委	AMED委託費(次世代がん)
46	Plk1 作動薬による染色体動態の破綻を介したがん 細胞増殖制御法の開発	高橋元子	がん研究所実験病理部	5,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
47	TFE3関連腫瘍の微小環境を標的とした革新的治 療法の開発	田中美和	がん研究所 がんエピゲ ノムプロジェクト	20,692,308	委	AMED委託費(次世代がん)
48	エピゲノム異常を標的とした新規がん治療戦略 の開発	高橋暁子	がん研究所 細胞老化プ ロジェクト	10,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
49	循環腫瘍変異タンパク質を利用した革新的がん早 期診断技術開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研 究センター	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
50	空間的エピゲノム解析を用いた子宮体がんの腫瘍 形成過程の解明と早期診断・予防のための新規バ イオマーカーの同定	森誠一	がんプレジジョン医療研 究センター 次世代がん 研究シーズ育成プロジェ クト	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)

51	Ribosome biogenesisを標的としたRAS変異大腸がん治療法開発	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
52	がん臨床検体と革新的3D培養技術を応用した治療抵抗性機構と克服法の探索	片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
53	グリオーマの診断マーカーの開発	植田幸嗣(分担)	がんプレジジョン医療研究センター	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
54	ハイドロゲルを用いたがんの不均一性制御の医療応用基盤開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所・がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
55	iPS細胞技術を用いた創薬スクリーニングによる希少難治性がん治療戦略の開発	片山量平(分担)	がん化学療法センター基礎研究部	3,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
56	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	布部創也	有明病院 消化器外科	700,000	委	国がん研究開発費
57	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	寺内隆司	有明病院 核医学部	2,500,000	委	国がん研究開発費
58	AI技術の支援を取り入れたリキッドバイオプシーによる超高精度がん診断システムの標準化・実装化	Siew-KeeLow(分担)	研究本部 がんプレジジョン医療研究センター免疫ゲノム医療開発プロジェクト	117,392,000	補	医薬基盤・健康・栄養研究所(SIP)プログラム
59	人工知能を有する統合がん診療支援システム	小口正彦(分担)	有明病院	143,741,894	補	医薬基盤・健康・栄養研究所(SIP)プログラム
60	生体内ネットワークの理解による難治性がん克服に向けた挑戦	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化プロジェクト	13,846,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
61	動原体超分子複合体の構造ダイナミクス	広田亨(分担)	がん研究所 実験病理部	12,800,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
62	動原体超分子複合体の構造ダイナミクス	大学保一(分担)	がん研究所	4,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
63	ゲノム複製におけるDNAポリメラーゼ間の協調的機能	大学保一	がん研究所	7,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
64	内在性二本鎖RNA産生機構の解明およびがん免疫療法への応用	北嶋俊輔	がん研究所	6,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
65	細胞内サイバネティック・アバターの遠隔制御によって見守られる社会の実現	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	3,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
66	レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	1,500,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
67	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	300,000	補	厚労科研補助金
68	現場や地域の実情に即したがん治療と並行する緩和ケアの実装の推進に関する研究	松本禎久(分担)	有明病院 緩和治療科	500,000	補	厚労科研補助金
69	科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究	花出正美(分担)	有明病院 がん相談支援センター	200,000	補	厚労科研補助金
70	がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	松本禎久(分担)	有明病院 緩和治療科	500,000	補	厚労科研補助金
71	細胞外分泌小胞中変異タンパク質を用いた膵がん早期診断法開発	植田幸嗣	研究本部 CPMセンターがんオーダーメイド医療開発PJプロテオミクス解析G	7,290,000	補	車両財団
72	染色体動態解析によるがんの発生過程のゲノム不安定性の解明	野澤竜介	がん研究所実験病理部	7,290,000	補	車両財団
73	核内RNAボディによるクロマチン制御機構の解明	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	17,700,000	補	文科省科研費
74	機能ゲノミクスを用いた肉腫細胞の遺伝子依存性の解明とそれを標的とした治療法の開発	旦慎吾	がん化学療法センター分子薬理部	3,200,000	補	文科省科研費
75	細胞社会ダイバーシティの統合的解明と制御	藤田直也	がん化学療法センター	3,000,000	補	文科省科研費
76	生命科学連携推進協議会	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター分子生物治療研究部	40,000	補	文科省科研費

77	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	29,560,000	補	文科省科研費
78	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	6,600,000	補	文科省科研費
79	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)且慎吾	がん化学療法センター 分子薬理部	10,900,000	補	文科省科研費
80	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)八尾良司	がん研究所 細胞生物部	25,700,000	補	文科省科研費
81	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)高松学	がん研究所 病理部	1,050,000	補	文科省科研費
82	SAF-A/RNA複合体が作り出す転写制御の場の解明	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	3,400,000	補	文科省科研費
83	エレノアの液滴形成による転写活性化と乳がん再発における役割解明	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	3,300,000	補	文科省科研費
84	KRAS/LKB1変異型肺がんが示す免疫チェックポイント阻害薬治療耐性の克服	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	4,500,000	補	文科省科研費
85	大きな細胞外小胞に焦点をあてたがん診断情報の取得	芝清隆	がん研究所	2,600,000	補	文科省科研費
86	大腸がんの転移・再発における細胞多様性の役割	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	4,200,000	補	文科省科研費
87	網羅的変異タンパク質定量解析に基づく再発大腸癌の診断、治療法開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	3,100,000	補	文科省科研費
88	クロマチン3次元構造調節因子CTCFの子宮体がんにおける下流因子の解明	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター	4,500,000	補	文科省科研費
89	HLAクラスII抗原ペプチドの細胞内抗原プロセッシング律速要因についての解析	峯岸ゆり子	CPMセンター プロテオミクス解析グループ	700,000	補	文科省科研費
90	転写活性型クロマチン構造を形成するH2A.Zの機能解析	立和名博昭	がん研究所 がん生物部	1,300,000	補	文科省科研費
91	構造異常とスプライシング異常に着目したPD-L1/PD-L2の分子病理学的判定法	坂田征士	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
92	RNF168が制御する新たなRNA代謝経路とそれが寄与するがん増殖の分子機構	渡邊健司	がん研究所 がん生物部	1,300,000	補	文科省科研費
93	消化管腫瘍の細胞多様性と微小環境相互作用の解明	坂原瑞穂	がん研究所 細胞生物部	1,200,000	補	文科省科研費
94	細胞特異性の高い抗がん効果を示す新規CDK阻害剤を用いた画期的ながん治療法の開発	大橋愛美	がん化学療法センター 分子薬理部	700,000	補	文科省科研費
95	がん代謝阻害時に誘導される相同組換え修復不全の治療標的化に向けた機序解析	岡本有加	がん化学療法センター ゲノム研究部	900,000	補	文科省科研費
96	シングルセル解析を基軸とした乳がんの層別化と病態解明	丸山玲緒	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	900,000	補	文科省科研費
97	Next generation sequencing of circulating tumor DNA to monitor treatment response to nivolumab in advanced gastric cancer	LOW SIEW KEE	CPMセンター リキッドバイオプシーシステム開発グループ	400,000	補	文科省科研費
98	染色体高次構造調節因子 CTCF の子宮体癌における下流因子の探索	後藤理	がん研究所 がんゲノム研究部	1,200,000	補	文科省科研費
99	日本人乳癌における生物学的特性および免疫微小環境の超長期変化の解明	大迫智	がん研究所 病理部	700,000	補	文科省科研費
100	世界的希少疾患であるリンパ腫様胃症/NK細胞腸症の実態把握と原因遺伝子の探索	井上典仁	がん研究所 病理部	1,000,000	補	文科省科研費
101	HPV非関連型子宮頸部腺癌の浸潤性予測マーカー探索:EMT関連遺伝子に着目して	外岡暁子	がん研究所 病理部	600,000	補	文科省科研費
102	疾患単位確立を目指したRhoGAP胃癌の病理・ゲノム・臨床統合的解析	河内洋	がん研究所 病理部	1,000,000	補	文科省科研費

103	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍:多様性から稀少腫瘍の病態を紐解く	坂本佳奈	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
104	肺線維症から肺腺癌の発生、特に肺泡細気管支化の機序と役割	松原修	がん研究所 病理部	1,000,000	補	文科省科研費
105	胃がんの初期薬剤抵抗性を司るがん細胞の可塑性および安定維持機構の解明	馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	1,000,000	補	文科省科研費
106	自己DNAを標的としたSASP制御への挑戦	高橋暁子	がん研究所 細胞老化プロジェクト	2,500,000	補	文科省科研費
107	乳がん細胞における老化様エピゲノム異常がもたらす悪性化機構の解明	宮田憲一	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
108	膵癌の組織形態とゲノムに基づく腫瘍内不均一性の可視化と革新的な予後予測法の開発	高松学	がん研究所 病理部	100,000	補	文科省科研費
109	デジタル病理画像深層学習によるびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の予後予測モデル構築	津山直子	がん研究所 病理部	700,000	補	文科省科研費
110	カルシウムシグナル伝達を介したフェロトーシス抵抗性の分子機序解明と治療への応用	白濱仁深	がん化学療法センター ゲノム研究部	1,800,000	補	文科省科研費
111	老化細胞におけるDNA/RNAハイブリッドを介したがん促進機構の解明	菅原祥	がん研究所 細胞老化プロジェクト	900,000	補	文科省科研費
112	口腔がん幹細胞に対する新規分子標的探索とその応用による口腔がん治療戦略基盤の確立	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	200,000	補	文科省科研費
113	臨床がんの遺伝子情報維持に必要な物理化学的因子の解明とがん個別化医療への応用	(分担)片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	300,000	補	文科省科研費
114	難治性前立腺癌のシングルセル解析によるゲノムエピゲノム進化と腫瘍内不均一性の解明	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	100,000	補	文科省科研費
115	子宮頸癌におけるWEE1阻害薬の検討およびその免疫環境の評価	(分担)清谷一馬	がんプレジジョン医療研究センター	300,000	補	文科省科研費
116	大腸癌治療薬の基礎解析データからの血中循環バイオマーカー同定と生物学的意義の解析	(分担)馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	200,000	補	文科省科研費
117	遺伝子改変ネオアンチゲン特異的T細胞による泌尿器癌個別化免疫療法の開発	(分担)清谷一馬	がんプレジジョン医療研究センター	500,000	補	文科省科研費
118	CCT2複合ヘテロ変異による網膜変性モデルマウスの病態と網羅的タンパク質定量解析	(分担)峯岸ゆり子	CPMセンター プロテオミクス解析グループ	200,000	補	文科省科研費
119	神経内分泌前立腺がんのシングルセル解析による病態解明と新規治療戦略の確立	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	200,000	補	文科省科研費
120	神経内分泌前立腺がんのシングルセル解析による病態解明と新規治療戦略の確立	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	300,000	補	文科省科研費
121	Radiogenomicsによる直腸がん放射線化学療法の効果予測マーカーの確立	福長洋介	有明病院 消化器外科	1,000,000	補	文科省科研費
122	新規免疫治療創出を目指したMSI-low上部消化管腺癌の網羅的免疫・ゲノム解析	今村裕	有明病院 消化器外科	900,000	補	文科省科研費
123	子宮頸部腺系病変早期発見のための新しいAI細胞診の確立	杉山裕子	有明病院 細胞診断部	400,000	補	文科省科研費
124	遺伝性胃癌における初期病変に着眼した病理組織学的特徴とゲノム異常の解明	中野薫	有明病院 病理部	800,000	補	文科省科研費
125	蛍光多重免疫組織化学染色を用いた非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析	水柿秀紀	有明病院 がん免疫治療開発部	1,300,000	補	文科省科研費
126	CDK4/6阻害剤による抗腫瘍免疫応答活性化の解析と新規多剤併用免疫療法への応用	小林隆之	有明病院 乳腺内科	1,000,000	補	文科省科研費
127	術者のコツと経験則を拡張現実を用いて共有するシステムの開発	矢野智之	有明病院 形成外科	200,000	補	文科省科研費
128	nCounterを用いた遺伝子発現解析による肺扁平上皮癌と頭頸部癌肺転移の鑑別	一瀬淳二	有明病院 呼吸器外科	300,000	補	文科省科研費

129	切除不能肝細胞癌におけるテクスチャー解析による分子標的薬への治療変更指標の確立	佐藤洋造	有明病院 超音波診断・IVR部	600,000	補	文科省科研費
130	肉腫における腫瘍内免疫応答の解析に基づく最適な複合的免疫療法の検討	佐藤靖祥	有明病院 総合腫瘍科	300,000	補	文科省科研費
131	狭帯域光併用エンドサイトスコピーによる胃癌の診断法と診断性能の検討	堀内裕介	有明病院 上部消化管内科	1,000,000	補	文科省科研費
132	抗横紋筋抗体の病因論的自己抗体としての意義とPD-1ミオパチーの疾患概念の確立	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
133	分子疫学研究による胆のうがんリスク要因の解明	(分担)笹平直樹	有明病院 消化器内科	150,000	補	文科省科研費
134	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
135	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	(分担)日吉幸晴	有明病院 大腸外科	50,000	補	文科省科研費
136	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	(分担)金尾祐之	有明病院 婦人科	50,000	補	文科省科研費
137	中小規模病院看護師へのフィジカルイグザミネーション学習機会の提供方法の開発と評価	(分担)中山章子	有明病院 看護部	300,000	補	文科省科研費
138	照射技術に応じた適切な放射線治療法の開発とその普及	(分担)吉岡靖生	有明病院 放射線治療部	80,000	補	文科省科研費
139	革新的治療法開発を目指した食道胃接合部腺癌の網羅的ゲノム解析	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
140	肺由来間葉系幹細胞と一酸化炭素による急性肺傷害に対する新規治療法創出	(分担)橋本浩平	有明病院 呼吸器外科	100,000	補	文科省科研費
141	オンライン遺伝診療:家系単位での遺伝医療を実現する遠隔診療ネットワークの構築	(分担)植木有紗	有明病院 臨床遺伝医療部	100,000	補	文科省科研費
142	ヒストン化学修飾とヒストンバリエーションによる協調した転写制御機構の解明	立和名博昭	がん研究所 がん生物部	3,400,000	補	文科省科研費
143	セントロメア微小環境の形成における非ドメイン型RNAの機能	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	3,600,000	補	文科省科研費
144	がん細胞における可塑的染色体動態制御の病理学的意義	広田亨	がん研究所 実験病理部	35,200,000	補	文科省科研費
145	DNAポリメラーゼ動態から成る遺伝情報の安定性	大学保一	がん研究所 がんゲノム動態プロジェクト	4,300,000	補	文科省科研費
146	ポドプラニン依存的な血小板凝集による腫瘍の増殖・転移の促進機構の解析	藤田直也	がん化学療法センター	5,700,000	補	文科省科研費
147	染色体構造異常によるがんの悪性化機構の解析	高橋暁子	がん研究所 細胞老化プロジェクト	4,300,000	補	文科省科研費
148	腫瘍内細菌が抗がん薬物効果におよぼす影響の解明～転移性がんの細菌標的治療に向けて	稲村健太郎	がん研究所 病理部	5,700,000	補	文科省科研費
149	ポリADPリボシル化酵素タンキラーゼを標的としたがん精密医療の分子基盤	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	5,000,000	補	文科省科研費
150	合成致死性を司る代謝リプログラミング機構の解明と治療への応用	富田章弘	がん化学療法センター ゲノム研究部	5,700,000	補	文科省科研費
151	WHO分類における新規脂肪性腫瘍の検証とテロメア維持機構を含む全体像の解明	山下享子	がん研究所 病理部	1,000,000	補	文科省科研費
152	転移性乳癌で生じる多様な変異体タンパク質の機能異常性の網羅的解析と病的意義の解明	中太智義	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
153	老化間質細胞を標的とした新規がん治療法の探索	羅智文	がん研究所 細胞老化プロジェクト	1,200,000	補	文科省科研費
154	肺がんにおけるエピジェネティクスを介した薬剤耐性変異獲得メカニズムの解明	瀬戸陽介	がん化学療法センター 基礎研究部	1,300,000	補	文科省科研費

155	老化細胞から分泌されるエクソソームのがん病態における役割の解明	田中陽子	がん研究所 細胞老化プロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
156	薬剤感受性及びオミクスデータを用いたミトコンドリア代謝脆弱性因子の同定と治療応用	國政和宏	がん化学療法センターゲノム研究部	800,000	補	文科省科研費
157	がん関連シグナルを標的とした肉腫に対する新規複合免疫療法の開発	礪山翔	がん化学療法センター分子薬理部	1,000,000	補	文科省科研費
158	転移学習を用いた唾液腺癌の組織学的悪性度の再分類の試み	佐藤由紀子	がん研究所 病理部	1,200,000	補	文科省科研費
159	RNA転写のDNA複製へのトランスアクション	大学保一	がん研究所 がんゲノム動態プロジェクト	2,500,000	補	文科省科研費
160	動くタンパク質構造辞典構築を介した疾患関連分子の新規標的部位探索	片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	5,000,000	補	文科省科研費
161	クロマチンの運動性から捉える転写制御のゆらぎとがん細胞の悪性化	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	1,400,000	補	文科省科研費
162	再発乳がんにおける群発的ノンコーディングRNAの転写が主導する遺伝子発現調節機構	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	2,000,000	補	文科省科研費
163	がん免疫療法への応用を目指したcGAS依存的微小核ダイナミクスの解明	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	2,500,000	補	文科省科研費
164	がん組織における分化転換機構の解明	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	3,000,000	補	文科省科研費
165	グアニン四重鎖による翻訳制御に潜むがん細胞選択的な脆弱性	清宮啓之	がん化学療法センター分子生物治療研究部	2,500,000	補	文科省科研費
166	HP1によるAurora B複合体の動的構造解析とその空間制御機構の解明	迫洸佑	がん研究所 実験病理部	1,100,000	補	文科省科研費
167	がんの進行・悪性化における可塑的染色体動態制御の意義	趙民知	がん研究所 実験病理部	1,100,000	補	文科省科研費
168	乳癌細胞の骨におけるDormancyの分子基盤解析と晩期再発への新規治療戦略開発	松永有紀	NEXT-Gankenプログラム	1,800,000	補	文科省科研費
169	オルガノイドとシングルセル解析を用いた、乳癌細胞が正常細胞にもたらす変化の解明	尾辻和尊	NEXT-Gankenプログラム	700,000	補	文科省科研費
170	患者由来オルガノイドとハイドロゲルを用いた乳がん幹細胞生存シグナル経路の解明	鈴鹿淳	NEXT-Gankenプログラム	1,200,000	補	文科省科研費
171	脳腫瘍と脳内微小環境のコミュニケーションを解明するコネクティクス解析基盤の創出	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
172	RNAと染色体骨格タンパク質群による液-液相分離現象が促すM期染色体制御	(分担)広田亨	がん研究所 実験病理部	500,000	補	文科省科研費
173	膀胱癌における反復配列RNAの機能解析と治療選択最適化への応用	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	50,000	補	文科省科研費
174	腸内細菌の細胞外小胞による進行肝硬変の再生不全の機序解明と予防・治療法開発	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	1,000,000	補	文科省科研費
175	内耳蝸牛基底部を自発的に増殖再生させるメカニズムの解明	(分担)土橋映仁	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	70,000	補	文科省科研費
176	Oct4陽性肺癌幹細胞マウスモデルの樹立と癌幹細胞を根絶する革新的治療法の開発	(分担)片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	350,000	補	文科省科研費
177	乳がん脳転移症例におけるHER3等治療標的の探索	古川孝広	有明病院 がん早期臨床開発部	700,000	補	文科省科研費
178	転移性乳癌患者における全身免疫病態の網羅的集団動態解析	山下万貴子	有明病院 がん免疫治療開発部	2,100,000	補	文科省科研費
179	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	井田智	有明病院 消化器外科	900,000	補	文科省科研費
180	進行下部直腸癌に対する待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析	秋吉高志	有明病院 大腸外科	900,000	補	文科省科研費

181	経口抗がん薬のアドヒアランスをリアルタイムに評価しアドヒアランス向上を目指す研究	川上和宜	有明病院 薬剤部	1,100,000	補	文科省科研費
182	抗原特異的CD8+T細胞を活性化させる免疫重粒子線治療の開発	栗山健吾	有明病院 大腸外科	1,700,000	補	文科省科研費
183	タイトジャンクションの構造破綻を起点とした腫瘍とその微小環境特性の解明	中山巖馬	有明病院 消化器化学療法科	1,200,000	補	文科省科研費
184	オルガノイド技術と新規シンジェニックマウスモデルを用いた胆道癌・膵癌の治療開発	春日章良	有明病院 肝胆膵内科	1,100,000	補	文科省科研費
185	EGFR陽性肺癌における小細胞癌転化の分子プロフィール解析と転化機構の解明	内堀健	有明病院 呼吸器内科	900,000	補	文科省科研費
186	慢性痛に対する治療薬としてのMA-5投与の効果検証	山下理比路	有明病院 麻酔科	1,400,000	補	文科省科研費
187	言語化困難な切除適応と治療結果のAI解析に基づく進行大腸癌肝転移の切除適応標準化	小林光助	有明病院 肝胆膵外科	1,100,000	補	文科省科研費
188	深層学習を用いて多様な呼吸波形を最適化する呼吸同期PET撮像法の開発・評価	宮司典明	有明病院 画像診断センター核医学チーム	1,400,000	補	文科省科研費
189	乳癌オルガノイドとペリサイトの相互作用解析による、新規治療標的の探索	家里明日美	有明病院 乳腺外科	1,100,000	補	文科省科研費
190	乳がん患者における標準治療前後における患者免疫病態のモニタリング研究	尾崎由記範	有明病院 乳腺内科	1,000,000	補	文科省科研費
191	次世代トランスクリプトーム解析を用いた肺癌個別化医療開発	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	430,000	補	文科省科研費
192	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
193	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)渡邊雅之	有明病院 消化器外科	300,000	補	文科省科研費
194	組織血流動態と組織硬さを定量指標化する形成外科手術支援システム	(分担)矢野智之	有明病院 形成外科	300,000	補	文科省科研費

計 194件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Yamaguchi, K., Bang, Y. J., Iwasa, S., et al.	消化器化学療法科	Trastuzumab deruxtecan in anti-human epidermal growth factor receptor 2 treatment-naïve patients with human epidermal growth factor receptor 2-low gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: Exploratory cohort results in a phase II trial.	J. Clin. Oncol. 2023 Feb; 41: 816-825	Original Article
2	Inamura, K., Hamada, T., Bullman, S., et al.	病院病理部	Cancer as microenvironmental, systemic and environmental diseases: Opportunity for transdisciplinary microbiomics science	Gut. 2022 Oct; 71: 2107-2122	Review
3	Shigematsu, Y., Nakano, K., Uchibori, K., et al.	病院病理部	EGFR-mutated pulmonary choriocarcinoma combined with adenocarcinoma	J. Thorac. Oncol. 2022 Nov; 17: 1318-1322	Others
4	Okamura, A., Yamamoto, H., Watanabe, M., et al.	食道外科	Association between preoperative HbA1c levels and complications after esophagectomy: Analysis of 15,801 esophagectomies from the National Clinical Database in Japan	Ann. Surg. 2022 Nov; 276: e393-e399	Original Article
5	Akiyoshi, T., Wang, Z., Kaneyasu, T., et al.	大腸外科	Transcriptomic analyses of pretreatment tumor biopsy samples, response to neoadjuvant chemoradiotherapy, and survival in patients with advanced rectal cancer	JAMA Netw. Open. 2023 Jan (オンライン); 6: e2252140	Original Article
6	Ueno, T., Kitano, S., Masuda, N., et al.	乳腺外科/がんゲノム医療開発部	Immune microenvironment, homologous recombination deficiency, and therapeutic response to neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer: Japan Breast Cancer Research Group (JBCRG)22 TR	BMC Med. 2022 Apr; 20: 136	Original Article
7	Ikenoyama, Y., Iri, A., Imai, H., et al.	上部消化管内科	Endoscopic submucosal dissection of an early-stage gastric tumor with minimal bleeding using full-time red dichromatic imaging	Endoscopy. 2022 Dec; 54: E1001-E1002	Others
8	Yamada, M., Okamoto, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Troubleshooting with a drill dilator for the stent-in-stent technique in malignant hilar biliary obstruction	Endoscopy. 2023 Jan; 55: E189-E190	Others
9	Ozaka, M., Nakachi, K., Kobayashi, S., et al.	肝胆膵内科	A randomised phase II study of modified FOLFIRINOX versus gemcitabine plus nab-paclitaxel for locally advanced pancreatic cancer (JCOG1407)	Eur. J. Cancer. 2022 Dec; 181: 135-144	Original Article
10	Ozaki, Y., Tsurutani, J., Mukohara, T., et al.	乳腺内科	Safety and efficacy of nivolumab plus bevacizumab, paclitaxel for HER2-negative metastatic breast cancer: Primary results and biomarker data from a phase 2 trial (WJOG9917B)	Eur. J. Cancer. 2022 Jun; 171: 193-202	Original Article
11	Namikawa, K., Tanaka, N., Ota, Y., et al.	上部消化管内科	Genomic features of Helicobacter pylori-naïve diffuse-type gastric cancer	J. Pathol. 2022 Sep; 258: 300-311	Original Article
12	Saeki, S., Kumegawa, K., Takahashi, Y., et al.	乳腺外科	Transcriptomic intratumor heterogeneity of breast cancer patient-derived organoids may reflect the unique biological features of the tumor of origin	Breast Cancer Res. 2023 Feb (オンライン); 25: 21	Original Article
13	Tsuyama, N., Noguchi, M., Asaka, R., et al.	病院病理部	Hodgkinoid histiocytosis: An atypical nodal CD30 and S100-positive histiocytosis with eosinophilia	Histopathology. 2022 Sep; 81: 371-379	Original Article
14	Koterazawa, Y., Ohashi, M., Hayami, M., et al.	胃外科	Minimum resection length to ensure a pathologically negative distal margin and the preservation of a larger remnant stomach in proximal gastrectomy for early upper gastric cancer	Gastric Cancer. 2022 Sep; 25: 973-981	Original Article
15	Terayama, M., Ohashi, M., Makuuchi, R., et al.	胃外科	A continuous muscle-sparing advantage of pylorus-preserving gastrectomy for older patients with cT1N0M0 gastric cancer in the middle third of the stomach	Gastric Cancer. 2023 Jan; 26: 145-154	Original Article
16	Shimozaki, K., Nakayama, I., Hirota, T., et al.	消化器化学療法科	Current strategy to treat immunogenic gastrointestinal cancers: Perspectives for a new era	Cells. 2023 Mar (オンライン); 12: 1049	Review
17	Kiyozumi, Y., Akiyoshi, T., Mukai, T., et al.	大腸外科	Lateral local recurrence after total mesorectal excision for mid/low rectal cancer: Study of clinical characteristics and impact of salvage surgery on survival	Br. J. Surg. 2022 Sep; 109: 904-907	Original Article
18	Oba, A., Wu, Y. H. A., Schulick, R., et al.	肝胆膵外科	Author response to: Comment on: Comparing neoadjuvant chemotherapy with or without radiation therapy for pancreatic ductal adenocarcinoma: National Cancer Database cohort analysis	Br. J. Surg. 2022 Dec; 110: 112	Others
19	Oba, A., Wu, Y. H. A., Colborn, K. L., et al.	肝胆膵外科	Comparing neoadjuvant chemotherapy with or without radiation therapy for pancreatic ductal adenocarcinoma: National Cancer Database cohort analysis	Br. J. Surg. 2022 Apr; 109: 450-454	Original Article

20	Takahashi, Y., Sasaki, T., Sasahira, N., et al.	肝胆膵外科	Safety and efficacy of inside-stent as bridging therapy for malignant hilar biliary obstruction: Single-centre prospective study	Br. J. Surg. 2022 Apr; 109: 468-469	Letter
21	Kano, Y., Ohashi, M., Nunobe, S.	胃外科	Laparoscopic function-preserving gastrectomy for proximal gastric cancer or esophagogastric junction cancer: A narrative review.	Cancers (Basel). 2023 Jan (オンライン); 15: 311	Review
22	Mie, T., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Treatment outcomes and prognostic factors of gemcitabine plus nab-paclitaxel as second-line chemotherapy after modified FOLFIRINOX in unresectable pancreatic cancer	Cancers (Basel). 2023 Jan (オンライン); 15: 358	Original Article
23	Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.	総合腫瘍科	Validity of the cancer and aging research group predictive tool in older Japanese patients.	Cancers (Basel). 2022 Apr; 14 (オンライン): 2075	Original Article
24	Udagawa, S., Ooki, A., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Circulating tumor DNA: The dawn of a new era in the optimization of chemotherapeutic strategies for metastatic colo-rectal cancer focusing on RAS mutation.	Cancers (Basel). 2023 Feb; 15 (オンライン): 1473	Review
25	Inoue, Y., Sato, T., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	How can we optimize surgical view during robotic-assisted pancreaticoduodenectomy?	J. Am. Coll. Surg. 2022 Oct; 235: e1-e7	Others
26	Maruyama, D., Iida, S., Machida, R., et al.	血液腫瘍科	Final analysis of randomized phase II study optimizing melphalan, prednisolone, bortezomib in multiple myeloma (JCOG1105)	Cancer Sci. 2022 Sep; 113: 3267-3270	Letter
27	Yamaguchi, K., Minashi, K., Sakai, D., et al.	消化器化学療法科	Phase IIb study of pembrolizumab combined with S-1 + oxaliplatin or S-1 + cisplatin as first-line chemotherapy for gastric cancer	Cancer Sci. 2022 Aug; 113: 2814-2827	Original Article
28	Mie, T., Sasaki, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Serial pancreatic juice aspiration cytologic examination with balloon-assisted enteroscopy in surgically altered anatomy	Dig. Endosc. 2023 Jan; 35: e13-e15	Others
29	Naito, S., Yoshio, T., Ishiyama, A., et al.	上部消化管内科	Long-term outcomes of esophageal squamous cell carcinoma with invasion depth of pathological T1a-muscularis mucosae and T1b-submucosa by endoscopic resection followed by appropriate additional treatment	Dig. Endosc. 2022 May; 34: 793-804	Original Article
30	Sasaki, T., Okamoto, T., Yoshio, T.	肝胆膵内科	Endoscopic removal of two intertwined esophageal stents from the stomach	Dig. Endosc. 2022 Sep; 34: e128-e129	Others
31	Ohmoto, A., Hayashi, N., Fukada, I., et al.	総合腫瘍科	Druggable gene alterations in Japanese patients with rare malignancy	Neoplasia. 2022 Nov; 33: 100834	Original Article
32	Abe, A., Imoto, I., Ueki, A., et al.	婦人科	Moderate-risk genes for hereditary ovarian cancers involved in the homologous recombination repair pathway.	Int. J. Mol. Sci. 2022 Oct; 23 (オンライン): 11790	Review
33	Fujiwara, R., Kageyama, S., Yuasa, T.	泌尿器科	Developments in personalized therapy for metastatic renal cell carcinoma	Expert Rev. Anticancer Ther. 2022 Jun; 22: 647-655	Review
34	Ohmoto, A., Fuji, S., Kohmo, S., et al.	総合腫瘍科	HTLV-I associated bronchioloalveolar disorder (HABA): Disease concept and differential diagnosis of an unsolved disease entity	Expert Rev. Anti Infect. Ther. 2023 Jan; 21: 57-63	Review
35	Nakayama, I., Takahari, D., Shimozaki, K., et al.	消化器化学療法科	Clinical progress in inoperable or recurrent advanced gastric cancer treatment from 1004 single institute experiences between 2007 and 2018.	Oncologist. 2022 Jun; 27 (オンライン): e506-e517	Original Article
36	Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.	総合腫瘍科	Case report: Paratesticular dedifferentiated liposarcoma with poor prognosis	Front. Oncol. 2022 Dec (オンライン); 12: 1085794	Case Report
37	Ueno, T.	乳腺外科	Surgical management of metastatic breast cancer: A mini review	Front. Oncol. 2022 May (オンライン); 12: 910544	Review
38	Yuasa, T., Urasaki, T., Oki, R.	泌尿器科	Recent advances in medical therapy for urological cancers	Front. Oncol. 2022 Apr; 12 (オンライン): 746922	Review
39	Ooki, A., Osumi, H., Chin, K., et al.	消化器化学療法科	Potent molecular-targeted therapies for advanced esophageal squamous cell carcinoma	Ther. Adv. Med. Oncol. 2023 Jan (オンライン); 15: 17588359221138377	Review
40	Tanigawa, T., Omatsu, K., Aoki, Y., et al.	婦人科	Impact on prognosis of unexpected uterine sarcoma with scalpel morcellation or enucleation	Gynecol. Oncol. Rep. 2022 Oct; 43: 101070	Original Article
41	Tanigawa, T., Takeshima, N., Ishikawa, H., et al.	婦人科	Paclitaxel-carboplatin and bevacizumab combination with maintenance bevacizumab therapy for metastatic, recurrent, and persistent uterine cervical cancer: An open-label multicenter phase II trial (JGOG1079) 2 / 13 ページ	Gynecol. Oncol. 2022 Jun; 165: 413-419	Original Article

42	Ohmoto, A., Fuji, S., Shultes, K. C., et al.	総合腫瘍科	Controversies about immunoglobulin replacement therapy in HSCT recipients with hypogammaglobulinemia	Bone Marrow Transplant. 2022 Jun; 57: 874–880	Review
43	Aoyama, T., Nakano, K., Yuasa, T., et al.	薬剤部	Association between pazopanib exposure and safety in Japanese patients with renal cell carcinoma or soft tissue sarcoma	Sci. Rep. 2023 Feb; 13 (オンライン); 2099	Original Article
44	Nagayama, S., Kobayashi, Y., Fukunaga, M., et al.	大腸外科	Mutated genes on ctDNA detecting postoperative recurrence presented reduced neoantigens in primary tumors in colorectal cancer cases	Sci. Rep. 2023 Jan (オンライン); 13: 1366	Original Article
45	Nomura, H., Abe, A., Fusegi, A., et al.	婦人科	Impact of the coverage of risk-reducing salpingo-oophorectomy by the national insurance system for women with BRCA pathogenic variants in Japan	Sci. Rep. 2023 Jan(オンライン); 13: 1018	Original Article
46	Ooki, A., Satoh, T., Muro, K., et al.	消化器化学療法科	A phase 1b study of andecaliximab in combination with S-1 plus platinum in Japanese patients with gastric adenocarcinoma	Sci. Rep. 2022 Jun (オンライン); 12: 11007	Original Article
47	Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T., et al.	胃外科	Association of GLIM defined malnutrition according to preoperative chronic inflammation with long-term prognosis after gastrectomy in patients with advanced gastric cancer	J. Clin. Med. 2023 Feb (オンライン); 12: 1579	Original Article
48	Yamada, M., Takeda, T., Sasaki, T., et al.	肝胆膵内科	Outcomes of intraductal placement of covered metal stents for unresectable distal malignant biliary obstruction	J. Clin. Med. 2023 Mar (オンライン); 12: 2001	Original Article
49	Yonekura, C., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	Endoscopic transluminal stent placement for malignant afferent loop obstruction.	J. Clin. Med. 2022 Oct (オンライン); 11: 5357	Original Article
50	Nishio, M., Kato, T., Toyozawa, R., et al.	呼吸器内科	Management of peripheral edema in patients with MET exon 14-mutated non-small cell lung cancer treated with small molecule MET inhibitor	Target. Oncol. 2022 Sep; 17: 597–604	Original Article
51	Fusegi, A., Kanao, H., Tsumura, S., et al.	婦人科	Minimally invasive radical hysterectomy and the importance of avoiding cancer cell spillage for early-stage cervical cancer: a narrative review	J. Gynecol. Oncol. 2023 Jan (オンライン); 34: e5	Review
52	Kanao, H., Nishimura, M., Murakami, A.	婦人科	Laparoscopic resection surgery for malignant transformation of extragonadal endometriosis by the “pincer” approach	J. Gynecol. Oncol. 2022 May (オンライン); 33: e34	Case Report
53	Kanao, H., Tsumura, S.	婦人科	Reconstruction of the diaphragm with autologous fascia lata during cytoreduction in patients with advanced ovarian cancer	J. Gynecol. Oncol. 2023 Feb (オンライン); 34: e43	Others
54	Hayashi, N., Fukada, I., Ohmoto, A., et al.	ゲノム診療部	Evaluation of an inflammation-based score for identification of appropriate patients for comprehensive genomic profiling	Discov. Oncol. 2022 Oct (オンライン); 13: 109	Original Article
55	Ohmoto, A., Fujiwara, Y., Horita, N., et al.	総合腫瘍科	Platinum-doublet chemotherapy for advanced gastroenteropancreatic neuroendocrine carcinoma: A systematic review and meta-analysis	Discov. Oncol., 2022 Jun (オンライン); 13: 40	Original Article
56	Matsui, S., Fukunaga, Y., Sugiyama, Y., et al.	大腸外科	Incidence and prognostic value of lavage cytology in colorectal cancer.	Dis. Colon Rectum. 2022 Jul; 65: 894–900	Original Article
57	Ooki, A., Morita, S., Tsuji, A., et al.	消化器化学療法科	Impact of early tumor shrinkage on quality of life in patients treated with first-line cetuximab plus chemotherapy for unresectable metastatic colorectal cancer: results of Phase II QUACK trial	BMC Cancer. 2022 Jun (オンライン); 22: 711	Original Article
58	Inoue, Y., Fujishima, M., Ono, M., et al.	乳腺外科	Clinical significance of the neutrophil-to-lymphocyte ratio in oligometastatic breast cancer	Breast Cancer Res. Treat. 2022 Nov; 196: 341–348	Review
59	Shigematsu, Y., Amori, G., Kanda, H., et al.	病院病理部	Decreased ARG1 expression as an adverse prognostic phenotype in non-alcoholic non-virus-related hepatocellular carcinoma	Virchows Arch. 2022 Aug; 481: 253–263	Original Article
60	Yamashita, K., Funachi, Y., Hayakawa, K., et al.	病院病理部	S100-negative epithelioid malignant peripheral nerve sheath tumor with possible perineurial differentiation	Virchows Arch. 2022 Jun; 480: 1269–1275	Case Report
61	Ichinose, J., Yamamoto, H., Aokage, K., et al.	呼吸器外科	Real-world perioperative outcomes of segmentectomy versus lobectomy for early-stage lung cancer: a propensity score-matched analysis	Eur. J. Cardiothorac. Surg. 2022 Dec (オンライン); 63: ezac529	Original Article

62	Horie, Y., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., et al.	上部消化管内科	The effect of antithrombotic drug use on delayed bleeding with esophageal endoscopic resection	J. Gastroenterol. Hepatol. 2022 Sep; 37: 1792-1800	Original Article
63	Horiuchi, Y., Takizawa, K., Yoshio, T., et al.	上部消化管内科	Pretreatment risk factors for endoscopic noncurative resection of gastric cancers with undifferentiated-type components	J. Gastroenterol. Hepatol. 2022 Apr; 37: 758-765	Original Article
64	Ishii, S., Takamatsu, M., Ninomiya, H., et al.	病院病理部	Machine learning-based gene alteration prediction model for primary lung cancer using cytologic images	Cancer Cytopathol. 2022 Oct; 130: 812-823	Original Article
65	Kobayashi, K., Inoue, Y., Kitano, Y., et al.	肝胆膵外科	Optimizing the selection of technically unresectable colorectal liver metastases	Surgery. 2023 Feb; 173: 442-449	Original Article
66	Hayami, M., Ndegwa, N., Lindblad, M., et al.	胃外科	Population-based cohort study from a prospective national registry: Better long-term survival in esophageal cancer after minimally invasive compared with open transthoracic esophagectomy.	Ann. Surg. Oncol. 2022 Sep; 29: 5609-5621	Original Article
67	Hayashi, K., Ono, Y., Takamatsu, M., et al.	肝胆膵外科	Prediction of recurrence pattern of pancreatic cancer post-pancreatic surgery using histology-based supervised machine learning algorithms: A single-center Retrospective study	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jul; 29: 4624-4634	Original Article
68	Kato, T., Inoue, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Laparoscopic radical antegrade modular pancreatectomy with antero cranial splenic artery-first approach for left-sided resectable pancreatic cancer (with Videos)	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jun; 29: 3505-3514	Original Article
69	Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., et al.	食道外科	Fecal microbes associated with the outcomes after esophagectomy in patients with esophageal cancer.	Ann. Surg. Oncol. 2022 Nov; 29: 7448-7457	Original Article
70	Omichi, K., Inoue, Y., Mise, Y., et al.	肝胆膵外科	Hepatectomy with perioperative chemotherapy for multiple colorectal liver metastases is the available option for prolonged survival.	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jun; 29: 3567-3576	Original Article
71	Takeda, Y., Mise, Y., Takahashi, Y., et al.	肝胆膵外科	Limited prognostic value of KRAS in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases	Ann. Surg. Oncol. 2022 Apr; 29: 2383-2391	Original Article
72	Watanabe, G., Ito, H.	肝胆膵外科	Response: impact of tumor size on outcomes for patients with resectable distal pancreatic cancer	Ann. Surg. Oncol. 2022 May; 29: 4641-4642	Letter
73	Yoshino, K., Osumi, H., Ito, H., et al.	消化器化学療法科	Clinical usefulness of postoperative serum carcinoembryonic antigen in patients with colorectal cancer with liver metastases	Ann. Surg. Oncol. 2022 Dec; 29: 8385-8393	Original Article
74	Shimozaki, K., Shinozaki, E., Yamamoto, N., et al.	消化器化学療法科	KRAS mutation as a predictor of insufficient trastuzumab efficacy and poor prognosis in HER2-positive advanced gastric cancer	J. Cancer Res. Clin. Oncol. 2023 Mar; 149: 1273-1283	Original Article
75	Abe, A., Imoto, I., Tange, S., et al.	婦人科	Prevalence of pathogenic germline BRCA1/2 variants and their association with clinical characteristics in patients with epithelial ovarian cancer in a rural area of Japan	Genes (Basel). 2022 Jun (オンライン); 13: 1085	Original Article
76	Nakao, M., Terauchi, T., Oikado, K., et al.	呼吸器外科	Distinct prognostic impact of PET findings based on radiological appearance in clinical stage IA lung adenocarcinoma	Clin. Lung Cancer. 2023 Mar; 24: 107-113	Original Article
77	Nakao, M., Saji, H., Mun, M., et al.	呼吸器外科	Prognostic impact of mediastinal lymph node dissection in octogenarians with lung cancer: JACS1303	Clin. Lung Cancer. 2022 May; 23 (オンライン): e176-e184	Original Article
78	Fujiwara, H., Nagayama, S., Kawachi, H., et al.	大腸外科	A case of laparoscopically resected rectal neuroendocrine carcinoma and its renal metastasis with a potential sensitivity to inhibitors of FGFR and the Bcl family	Journal of Surgery. 2023 Mar (オンライン); 8: 1759	Original Article
79	Kato, T., Ono, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Comparison of the clinical efficacy of a new prognostic stratification for duodenal adenocarcinoma with that of TNM staging: The importance of T status with regard to the prognosis	Eur. J. Surg. Oncol. 2023 Jan; 49: 122-128	Original Article

80	Yasufuku, I., Ohashi, M., Makuuchi, R., et al.	胃外科	High prevalence of peritoneal metastasis in gastric cancer presenting gastric outlet obstruction: A new candidate for consecutive diagnostic staging laparoscopy and laparoscopic gastrojejunostomy	Eur. J. Surg. Oncol. 2022 Aug; 48: 1746-1752	Original Article
81	Hirano, M., Tamba, M., Inoue, N., et al.	血液腫瘍科	Durable response of therapy-related MDS/AML with concomitant Waldenström's macroglobulinemia treated with venetoclax and azacitidine	Ann. Hematol. 2022 Jul; 101: 1587-1589	Letter
82	Fujiwara, M., Numao, N., Yamamoto, S., et al.	泌尿器科	Predictive ability of prebiopsy magnetic resonance imaging and biopsy for side-specific negative lymph node metastasis at radical prostatectomy	Prostate. 2022 Jun; 82: 904-910	Original Article
83	Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., et al.	肝胆膵内科	Early-onset pancreatic cancer: Clinical characteristics and survival outcomes	Pancreatol. 2022 May; 22: 507-515	Original Article
84	Fukuda, N., Toda, K., Udagawa, S., et al.	総合腫瘍科	A proposed clinical scoring system for initiation of lenvatinib treatment in radioiodine-refractory thyroid cancer patients	Endocrine. 2022 Apr; 76: 70-77	Original Article
85	Hiyoshi, Y., Sakamoto, T., Mukai, T., et al.	大腸外科	Inferior versus medial approach in laparoscopic colectomy with complete mesocolic excision and D3 lymphadenectomy for right-sided colon cancer: A propensity-score-matched analysis	Colorectal Dis. 2023 Jan; 25: 56-65	Original Article
86	Abe, A., Yuasa, M., Imai, Y., et al.	婦人科	Extreme leanness, lower skeletal muscle quality, and loss of muscle mass during treatment are predictors of poor prognosis in cervical cancer treated with concurrent chemoradiation therapy	Int. J. Clin. Oncol. 2022 May; 27: 983-991	Original Article
87	Aoki, Y., Kanao, H., Fusegi, A., et al.	婦人科	Indocyanine green-guided sentinel lymph node mapping during laparoscopic surgery with vaginal cuff closure but no uterine manipulator for cervical cancer	Int. J. Clin. Oncol. 2022 Sep; 27: 1499-1506	Original Article
88	Kamiimabeppu, D., Wakatsuki, T., Takahari, D., et al.	消化器化学療法科	Treatment efficacy of ramucirumab-containing chemotherapy in patients with alpha-fetoprotein producing gastric cancer	Int. J. Clin. Oncol. 2023 Jan; 28: 121-129	Original Article
89	Takahashi, S., Oridate, N., Tanaka, K., et al.	総合腫瘍科	First-line pembrolizumab ± chemotherapy for recurrent/metastatic head and neck cancer: Japanese subgroup of KEYNOTE-048	Int. J. Clin. Oncol. 2022 Dec; 27: 1805-1817	Original Article
90	Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	Analysis of prognostic factors for borderline resectable pancreatic cancer after neoadjuvant chemotherapy: The importance of CA19-9 decrease in patients with elevated pre-chemotherapy CA19-9 levels	HPB (Oxford). 2023 Jan; 25: 100-108	Original Article
91	Ishioka, M., Yoshio, T., Sasaki, T., et al.	上部消化管内科	Safety and efficacy of self-expandable metallic stent placement using low radial force stent for malignant dysphagia after radiotherapy	Digestion. 2022 May; 103: 261-268	Original Article
92	Nakano, K., Fukuda, N., Sato, Y., et al.	総合腫瘍科	Post-systemic chemotherapy prognoses of recurrent/metastatic soft tissue sarcoma patients with retroperitoneal/intra-abdominal origin vs. those with extremities/trunk origin	Oncology. 2022 Apr; 100: 238-246	Original Article
93	Hiyoshi, Y., Yamaguchi, T., Matsuura, N., et al.	大腸外科	Advantages of the umbilical minilaparotomy-first approach in robotic rectal cancer surgery	Tech. Coloproctol. 2023 Jan; 27: 71-74	Others
94	Okamura, A., Endo, H., Watanabe, M., et al.	食道外科	Influence of patient position in thoracoscopic esophagectomy on postoperative pneumonia: A comparative analysis from the National Clinical Database in Japan	Esophagus. 2023 Jan; 20: 48-54	Original Article
95	Watanabe, M., Toh, Y., Ishihara, R., et al.	食道外科	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2015	Esophagus. 2023 Jan; 20: 1-28	Original Article
96	Yoshio, T., Minashi, K., Mizusawa, J., et al.	上部消化管内科	Effect of chemoradiation on the development of second primary cancers after endoscopic resection of T1 esophageal squamous cell carcinoma	Esophagus. 2022 Jul; 19: 469-476	Original Article
97	Ogusu, S., Ariyasu, R., Akita, T., et al.	呼吸器内科	EGFR-TKI re-administration after osimertinib failure in T790M mutation loss cases with re-biopsy	Invest. New Drugs. 2022 Dec; 40: 1342-1349	Original Article
98	Nunobe, S., Takahashi, M., Kinami, S., et al.	胃外科	Evaluation of postgastrectomy symptoms and daily lives of small remnant distal gastrectomy for upper-third gastric cancer using a large-scale questionnaire survey	Ann. Gastroenterol. Surg. 2022 May; 6: 355-365	Original Article
99	Ide, D., Ohya, T. R., Ishioka, M., et al.	下部消化管内科	Efficacy of the pocket-creation method with a traction device in endoscopic submucosal dissection for residual or recurrent colorectal lesions	Clin. Endosc. 2022 Sep; 55: 655-664	Original Article
100	Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	Comparison of tube-assisted mapping biopsy with digital single-operator peroral cholangioscopy for preoperative evaluation of biliary tract cancer	Clin. Endosc. 2022 Jul; 55: 549-557	Original Article

101	Emoto, S., Fukunaga, Y., Nakanishi, R., et al.	大腸外科	Short- and long-term outcomes of laparoscopic surgery with extracorporeal anastomosis for transverse colon cancer: Comparison of triangulating anastomosis with functional end-to-end anastomosis	Surg. Endosc. 2022 May; 36: 3261–3269	Original Article
102	Horiuchi, Y., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., et al.	上部消化管内科	A novel diagnostic system for superficial nonampullary duodenal epithelial tumors sized ≤5 mm	Surg. Endosc. 2022 Jun; 36: 5207–5216	Original Article
103	Inoue, Y., Sato, T., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	Reproduction of modified Blumgart pancreaticojejunostomy in a robotic environment: A simple clipless technique	Surg. Endosc. 2022 Nov; 36: 8684–8689	Original Article
104	Mitsuyoshi, Y., Ide, D., Ohya, T. R., et al.	下部消化管内科	Training program using a traction device improves trainees' learning curve of colorectal endoscopic submucosal dissection	Surg. Endosc. 2022 Jun; 36: 4462–4469	Original Article
105	Okamoto, T., Sasaki, T., Yoshio, T., et al.	肝胆膵内科	Outcomes after partially covered self-expandable metal stent placement for recurrent duodenal obstruction	Surg. Endosc. 2023 Jan; 37: 319–328	Original Article
106	Usui, Y., Kosugi, K., Nishiguchi, Y., et al.	緩和治療科	Parenting experiences of cancer patients with minor children and their conversations about the possibility of death: A cross-sectional web-based survey for an online cancer community	Support. Care Cancer. 2022 Sep; 30: 7715–7720	Original Article
107	Ikeda, M., Futami, M., Chanda, B., et al.	緩和治療科	The mouse homolog of the mutant WASp responsible for human X-linked neutropenia renders granulopoiesis ineffective	Biochem. Biophys. Res. Commun. 2022 Sep; 622: 177–183	Original Article
108	Karakawa, R., Konishi, T., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Comparison of short-term outcomes between pedicled- and free-flap autologous breast reconstruction: A nationwide inpatient database study in Japan	Breast Cancer. 2022 Nov; 29: 1067–1075	Original Article
109	Kataoka, A., Ueno, T., Yamauchi, H., et al.	乳腺外科	Characteristics, treatment trends, and long-term outcomes of Japanese patients with pregnancy-associated breast cancer (PABC)	Breast Cancer. 2022 Sep; 29: 825–834	Original Article
110	Kitano, S., Fujiwara, Y., Shimizu, T., et al.	がん免疫治療開発部	A feasibility study of lenvatinib plus pembrolizumab in Japanese patients with advanced solid tumors	Cancer Chemother. Pharmacol. 2022 Dec; 90: 523–529	Original Article
111	Fujiwara, D., Watanabe, M., Kanie, Y., et al.	食道外科	Is prophylactic cervical drainage effective in patients undergoing McKeown esophagectomy reconstructed through the retrosternal route with two-field lymphadenectomy?	World J. Surg. 2022 Aug; 46: 1944–1951	Original Article
112	Kimura, T.	形成外科	Letter to the editor Regarding “Clinical features of ruptured very small intracranial aneurysms (<3 mm) in patients with subarachnoid hemorrhage”	World Neurosurg. 2022 Sep; 165: 206	Letter
113	Kuroki, N., Ono, Y., Sato, T., et al.	肝胆膵外科	Long-term outcome of patients with postoperative refractory diarrhea after Tailored nerve plexus dissection around the major visceral arteries during pancreatoduodenectomy for pancreatic cancer	World J. Surg. 2022 May; 46: 1172–1182	Original Article
114	Sugitani, I., Kazusaka, H., Ebina, A., et al.	頭頸科	Long-term outcomes after lobectomy for patients with high-risk papillary thyroid carcinoma.	World J. Surg. 2023 Feb; 47: 382–391	Original Article
115	Takeda, Y., Mise, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	Repeat resection for advanced colorectal liver metastases—does it have the potential for cure?	World J. Surg. 2022 Sep; 46: 2253–2261	Original Article
116	Mie, T., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Diagnostic yield of serial pancreatic juice aspiration cytologic examination with brush cytology for pancreatic ductal stenosis	Pancreas. 2022 Sep; 51: 995–999	Original Article
117	Oba, A., Del Chiaro, M., Satoi, S., et al.	肝胆膵外科	New criteria of resectability for pancreatic cancer: A position paper by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (JSHBPS)	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci. 2022 Jul; 29: 725–731	Original Article
118	Sasaki, T., Takeda, T., Yamada, Y., et al.	肝胆膵内科	Long-term outcomes of endoscopic double stenting using an anti-reflux metal stent for combined malignant biliary and duodenal obstruction	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci. 2023 Jan; 30: 144–152	Original Article
119	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Outcomes of pancreatic cancer with liver oligometastasis	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci. 2023 Feb; 30: 229–239	Original Article
120	Yasue, C., Chino, A., Ishioka, M., et al.	下部消化管内科	Risk factors for vertical incomplete resection in endoscopic submucosal dissection of deep invasive submucosal colorectal cancer	Scand. J. Gastroenterol. 2022 Aug; 57: 1011–1017	Original Article
121	Ohmoto, A., Nakano, K., Fukuda, N., et al.	総合腫瘍科	Clinical characteristics of sarcoma cases in which long-term disease control was achieved with trabectedin treatment: A retrospective study	PLoS One. 2023 Mar (オンライン); 18: e0280508	Original Article
122	Osumi, H., Ishizuka, N., Takashima, A., et al.	消化器化学療法科	Multicentre single-arm phase II trial evaluating the safety and efficacy of Panitumumab and iRinOtecan in NeoRAS Wild-type mEtaStatic colorectal cancer patientS (C-PROWESS trial): study protocol	BMJ Open. 2022 Sep (オンライン); 12: e063071	Original Article

123	Taruno, H., Oba, M. S., Takizawa, O., et al.	先進がん治療開発センター	Impact of the Clinical Trials Act 2018 on clinical trial activity in Japan from 2018 to 2020: A retrospective database study using new and conventional Japanese registries	BMJ Open. 2022 Jul (オンライン); 12: e059092	Original Article
124	Inamura, K., Shigematsu, Y.	病院病理部	The need to optimize chemotherapy regimens for chemo-immunotherapy	J. Thorac. Dis. 2022 Sep; 14: 3648–3649	Letter
125	Yamamichi, T., Ichinose, J., Tamagawa, S., et al.	呼吸器外科	Impact of previous upper gastrointestinal cancer surgery on complications after lobectomy for lung cancer	J. Thorac. Dis. 2022 Oct; 14: 3811–3818	Original Article
126	Nomura, H., Sugiyama, Y., Nishino, S., et al.	婦人科	Clinical management of atypical endometrial cells of undetermined significance followed by negative cytology	Acta Cytol. 2022 Sep; 66: 420–425	Original Article
127	Fujiwara, M., Yokoyama, M., Toide, M., et al.	泌尿器科	Renal function outcome after selective bladder-preserving tetramodality therapy consisting of maximal transurethral resection, induction chemoradiotherapy and consolidative partial cystectomy in comparison with radical cystectomy for patients with muscle-invasive bladder cancer: a two-centre retrospective study	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Mar; 53: 263–269	Original Article
128	Mie, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Treatment outcomes of nanoliposomal irinotecan as second-line chemotherapy after gemcitabine and nab-paclitaxel in metastatic and recurrent pancreatic cancer	Jpn. J. Clin. Oncol. 2022 Dec; 52: 1399–1407	Original Article
129	Yunokawa, M., Onda, T., Ishikawa, M., et al.	婦人科	Current treatment status of older patients with gynecological cancers	Jpn. J. Clin. Oncol. 2022 Aug; 52: 817–824	Review
130	Hamada, K., Fujiwara, R., Takemura, K., et al.	泌尿器科	Tumor shrinkage patterns of nivolumab monotherapy in metastatic renal cell carcinoma	Int. J. Urol. 2022 Oct; 29: 1181–1187	Original Article
131	Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., et al.	食道外科	C-reactive protein to prealbumin ratio: A useful inflammatory and nutritional index for predicting prognosis after curative resection in esophageal squamous cell carcinoma patients	Langenbecks Arch. Surg. 2022 Aug; 407: 1901–1909	Original Article
132	Sato, S., Inoue, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	The “Tube Submarine Technique”: A safe and easy technique to place an external drainage tube during hepaticojejunostomy in minimally invasive surgery	Langenbecks Arch. Surg. 2023 Mar; 408: 117	Others
133	Fuse, Y., Yoshimatsu, H., Karakawa, R., et al.	形成外科	Novel classification of the branching patterns of the superficial branch and the deep branch of the superficial circumflex Iliac artery and the superficial Inferior epigastric artery on computed tomographic angiography	J. Reconstr. Microsurg. 2022 May; 38: 335–342	Original Article
134	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Kamiya, K., et al.	形成外科	An anatomical study of posterior trunk recipient vessels, and comparisons of outcome following pedicled- and free-flap transfers for treatment of sarcoma in the posterior trunk.	J. Reconstr. Microsurg. 2022 Nov; 38: 683–693	Original Article
135	Fujiwara, R., Yuasa, T., Yamamoto, S., et al.	泌尿器科	Geriatric nutritional risk index as a predictor of prognosis in metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab.	Nutr. Cancer. 2023 Feb; 75: 670–677	Original Article
136	Osumi, H., Ouchi, K., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Effect of DNA methylation status on first-line anti-epidermal growth factor receptor treatment in patients with metastatic colorectal cancer	Int. J. Colorectal Dis. 2022 Jun; 37: 1439–1447	Original Article
137	Ota, E., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Laparoscopic extraperitoneal colostomy has a lower risk of parastomal hernia and bowel obstruction than transperitoneal colostomy	Int. J. Colorectal Dis. 2022 Jun; 37: 1429–1437	Original Article
138	Komai, Y., Nakajima, K., Saito, K., et al.	泌尿器科	Development of a new two-arm transurethral surgical system for en bloc resection of bladder tumor—A preclinical study	J. Endourol. 2023 Feb; 37: 165–170	Original Article

139	Izumi, D., Nunobe, S.	胃外科	How to decide approaches and procedures for early and advanced gastric cancer?	Can. J. Gastroenterol .Hepatol. 2022 Apr (オンライン); 2022: 8324242	Review
140	Kanamori, J., Watanabe, M., Maruyama, S.,et al.	食道外科	Current status of robot-assisted minimally invasive esophagectomy: What is the real benefit?	Surg. Today. 2022 Sep; 52: 1246-11253	Review
141	Kurogochi, T., Honda, M., Takahashi, K.,et al.	食道外科	Clinical features and risk factors for early recurrence after esophagectomy following neoadjuvant chemotherapy for esophageal cancer	Surg. Today. 2022 Apr; 52: 660-667	Original Article
142	Sakamoto, T., Goto, T., Fujiogi, M.,et al.	大腸外科	Machine learning in gastrointestinal surgery	Surg. Today. 2022 Jul; 52: 995-1007	Review
143	Yagi, S., Ida, S., Namikawa, K.,et al.	胃外科	Clinical outcomes of palliative treatment for gastric bleeding from incurable gastric cancer	Surg. Today. 2023 Mar; 53: 360-368	Original Article
144	Yamamichi, T., Ichinose, J., Omura, K.,et al.	呼吸器外科	Impact of postoperative complications on the long-term outcome in lung cancer surgery	Surg. Today. 2022 Sep; 52: 1254-1261	Original Article
145	Chin, K., Takahari, D., Kawabata, R.,et al.	消化器化学療法科	Initial safety analysis of CapeOx for elderly patients with advanced gastric cancer patients: A phase II trial	Anticancer Res. 2022 May; 42: 2683-2687	Original Article
146	Fujiwara, M., Fujiwara, R., Oguchi, T.,et al.	泌尿器科	Clinical outcome and prognostic variables of second-line therapy forPatients with castration-resistant prostate cancer after failure of first-line androgen receptor axis-targeted therapy	Anticancer Res. 2022 Apr; 42: 2123-2130	Original Article
147	Fujiwara, M., Fujiwara, R., Urasaki, T.,et al.	泌尿器科	Early serum and hematological responses to pembrolizumab therapy as predictors of survival in metastatic urothelial cancer	Anticancer Res. 2022 Apr; 42: 2045-2051	Original Article
148	Furukawa, T., Takamatsu, M., Inoue, Y.,et al.	肝胆膵内科	Impact of histological features on adjuvant chemotherapy for invasive intraductal papillary mucinous carcinoma.	Anticancer Res. 2022 May; 42: 2645-2655	Original Article
149	Mie, T., Ozaka, M., Okamoto, T.,et al.	肝胆膵内科	CA19-9 reduction after 4 months of treatment Is a prognostic factor for locally advanced pancreatic cancer	In Vivo. 2022 Nov; 36: 2844-2851	Original Article
150	Suto, H., Suto, M., Inui, Y.,et al.	総合腫瘍科	Difficulty in distinguishing pulmonary arterial intimal sarcoma from pulmonary thromboembolism using FDG PET/CT	In Vivo. 2022 May; 36: 1519-1522	Case Report
151	Fukai, S., Daisaki, H., Umeda, T.,et al.	核医学部	Impact of patient body habitus on image quality and quantitative value in bone SPECT/CT	Ann. Nucl. Med. 2022 May; 36: 586-595	Original Article
152	Motegi, K., Miyaji, N., Yamashita, K.,et al.	核医学部	Comparison of skeletal segmentation by deep learning-based and atlas-based segmentation in prostate cancer patients	Ann. Nucl. Med. 2022 Sep; 39: 834-841	Original Article
153	Nakatsuka, K., Fuse, Y., Karakawa, R.,et al.	形成外科	Comparing seroma formation rate after harvest of the deep inferior epigastric artery perforator flap and the superficial abdominal perforator flaps in autologous breast reconstruction: A propensity-matched analysis	Microsurgery. 2023 Jan; 43: 39-43	Case Report
154	Kanie, Y., Okamura, A., Fujihara, A.,et al.	食道外科	Long-term insufficiency of oral intake after esophagectomy; Who needs intense nutritional support after esophagectomy?	Ann. Nutr. Metab. 2022 Apr; 78: 106-113	Original Article
155	Fuse, Y., Yoshimatsu, H., Karakawa, R.,et al.	形成外科	Deep fat saving elevation of the superficial circumflex iliac artery perforator flap	Medicina (Kaunas, Lithuania). 2022 May; 58: 670	Original Article

156	Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y.,et al.	呼吸器外科	Optimal timing for lung metastasectomy in patients with colorectal cancer	Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg. 2022 Oct; 95: ivac224	Original Article
157	Kondo, Y., Ichinose, J., Ninomiya, H.,et al.	呼吸器外科	Combination of epidermal growth factor receptor mutation and the presence of high-grade patterns is associated with recurrence in resected stage I lung adenocarcinoma	Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg. 2022 Jul; 35: ivac062	Original Article
158	Tsuruta, Y., Yano, T., Kuramoto, Y.,et al.	形成外科	Breast shape evaluation after free flap breast reconstruction after more than 10 years follow-up using 3-dimensional imaging device	Ann. Plast. Surg. 2022 May; 88: 555-559	Original Article
159	Fukai, S., Daisaki, H., Shimada, N.,et al.	核医学部	Evaluation of data-driven respiratory gating for subcentimeter lesions using digital PET/CT system and three-axis motion phantom	Biomed. Phys. Eng. Express. 2022 Dec (オンライン); 9: 015006	Original Article
160	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y.,et al.	形成外科	Immediate tendon transfer for functional reconstruction of a dorsal forearm defect after sarcoma resection	J. Plast. Surg. Hand Surg. 2023 Jan; 57: 157-62	Original Article
161	Kasuga, A., Nojima, M., Okamoto, T.,et al.	肝胆膵内科	Impact of the COVID-19 pandemic on the management and end-of-life care of unresectable pancreatic cancer	Intern. Med. 2022 Dec; 61: 3641-3649	Original Article
162	Yamada, Y., Sasaki, T., Takeda, T.,et al.	肝胆膵内科	A case of multiple gastric metastases after distal pancreatectomy for pancreatic cancer	Intern. Med. 2022 Sep; 61: 2741-2746	Case Report
163	Ishikawa, S., Ozato, S., Ebina, T.,et al.	麻酔科	Early postoperative pulmonary complications after minimally invasive esophagectomy in the prone position: Incidence and perioperative risk factors from the perspective of anesthetic management	Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg. 2022 Jul; 70: 659-667	Original Article
164	Iwamoto, N., Ichinose, J., Hoshi, R.,et al.	呼吸器外科	Positive bag lavage cytology during thoracoscopic surgery for lung cancer is a significant predictor of locoregional recurrence	Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg. 2022 Apr; 70: 366-371	Original Article
165	Sato, Y., Hayashi, N., Takahashi, S.	総合腫瘍科	Black ascites	Nagoya J. Med. Sci. 2022 Aug; 84: 686-688	Case Report

計 165件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y.	肝胆膵外科	Neoadjuvant therapy for resectable pancreatic cancers	Hepatobiliary Surg. Nutr. 2022 Aug; 11: 583-585	Others
2	Inamura, K.	病理部/病院病理	Beyond bacteria: Fungi in the tumor microbiome	Cancers (Basel). 2023 Jan; 15: 572	Others
3	Yoshio, T.	上部消化管内科	Treatment outcomes of endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma based on clinical diagnosis	Dig. Endosc. 2022 May; 34: 791-792	Others
4	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial: Biomarkers in genitourinary cancers: Volume II	Front. Oncol. 2022. Oct (オンライン); 12: 1048736	Others
5	Tanaka, Y. O.	画像診断部	Editorial for "Magnetic resonance imaging-based nomogram to antenatal predict cesarean delivery for cephalopelvic disproportion in primiparous women"	J. Magn. Reson. Imaging. 2022 Oct; 56: 1155-1156	Others
6	Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Prognostic difference between each T3 descriptor in T3N0-3M0 non-small-cell lung cancer	Eur. J. Cardiothorac. Surg. 2023 Mar; 63: ezad037	Others
7	Ito, H., Watanabe, G., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	ASO author reflections: Size matters in distal pancreatic cancer: Predictor for failure of upfront resection for radiologically resectable disease	Ann. Surg. Oncol. 2022 Dec; 29: 568-569	Others
8	Ueno, T.	乳腺外科	A message from the new editor-in-chief	Breast Cancer. 2023 Jan; 30: 1	Others
9	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment from Dr Yuasa to Effect of active anticancer therapy on serologic response to SARS-CoV-2 BNT162b2 vaccine in patients with urothelial and renal cell carcinoma	Int. J. Urol. 2022 Jul; 29: 740	Others
10	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to Clinicopathological features of adrenal malignancies: Analysis of hospital-based cancer registry data in Japan.	Int. J. Urol. 2022 Nov; 29: 1338	Others
11	Sugawara, E., Koyama, K., Inamura, K.	病院病理部	Molecular characterization of upper tract urothelial carcinoma for precision therapeutics and non-invasive diagnostics	Curr. Genomics. 2022 Apr; 23: 2-4	Others
12	Yoshitomi, K. K., Komai, Y., Yamamoto, T., et al.	泌尿器科	Improving accuracy, reliability, and efficiency of the RENAL nephrometry score with 3D reconstructed virtual imaging	Urology. 2022 Jun; 164: 286-292	Others
13	Matsuura, Y.	呼吸器外科	Precise identification of the intersegmental plane for lung cancer segmentectomy	Transl. Cancer Res. 2023 Jan; 12: 213-216	Others
14	Watanabe, M., Okamura, A., Kanamori, J., et al.	食道外科	Three-dimensional model to simulate esophagectomy in patients with a mediastinal vascular anomaly: To see is to believe	Transl. Cancer Res. 2022 Oct; 11: 3443-3444	Others
15	Fukagawa, E., Yuasa, T., Inamura, K., et al.	泌尿器科	De novo large-cell neuroendocrine carcinoma of the prostate: A case report and literature review	IJU Case Rep. 2022 Nov; 5: 505-510	Original Article
16	Fukata, K., Akiyoshi, T., Numao, N., et al.	大腸外科	Robotic-assisted laparoscopic surgery for synchronous primary rectal and prostate cancer: Initial case series	Asian J. Endosc. Surg. 2022 Jul; 15: 678-682	Original Article
17	Fukumitsu, M., Ariyasu, R., Ishiyama, M., et al.	総合診療部	Myocarditis associated with immune checkpoint inhibitors diagnosed by cardiac magnetic resonance imaging	Int. Cancer Conf. J. 2022 Nov; 12: 109-114	Original Article
18	Harada, H., Ohashi, M., Hiki, N., et al.	胃外科	Excellent oncological outcomes besides short-term safety of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric gastrointestinal stromal tumor	Endosc. Int. Open. 2022 Oct; 10 (オンライン): E1254-E1260	Original Article
19	Hashimoto, K., Omura, K., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	A 3-dimensional airway model for tracheobronchial surgery	JTCVS Tech. 2022 Jun; 13: 247-249	Original Article
20	Hashimoto, K., Omura, K., Iwamoto, N., et al.	呼吸器外科	Patient-specific simulation for tracheobronchial reconstruction procedures using 3-dimensional operable models: A proof-of-concept study	JTCVS Tech. 2022 Aug; 14: 138-140	Original Article
21	Hayami, M., Ndegwa, N., Lindblad, M., et al.	食道外科	ASO author reflections: Better long-term survival in esophageal cancer after minimally invasive versus open transthoracic esophagectomy in Sweden: A population-based cohort study	Ann. Surg. Oncol. 2022 Sep; 29: 5622-5623	Others

22	Hoashi, K., Hayama, B., Suzuki, M., et al.	感染症科	Comparison of the treatment outcome of piperacillin-tazobactam versus carbapenems for patients with bacteremia caused by extended-spectrum β -lactamase-producing escherichia coli in areas with low frequency of coproduction of OXA-1: A preliminary analysis	Microbiol. Spectr. 2022 Aug (オンライン); 10: e0220622	Original Article
23	Hayashi, K., Ono, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	ASO author reflections: Histology-based supervised machine learning model can predict recurrence pattern of pancreatic cancer	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jul; 29: 4635-4636	Others
24	Hayashi, K., Ono, Y., Takamatsu, M., et al.	肝胆膵外科	ASO visual abstract: Prediction of recurrence pattern of pancreatic cancer post-pancreatic surgery using histology-based supervised machine learning algorithms: A single-center, retrospective study	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jul; 29: 4637-4638	Others
25	Iikura, Y., Aoyama, T., Hiraide, M., et al.	薬剤部	Safety evaluation of fixed-dose nivolumab in patients with gastric cancer	Health Sci. Rep. 2022 Jun; 5 (オンライン): e673	Original Article
26	Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., et al.	肝胆膵外科	Diabetogenic liver metastasis from pancreatic cancer: A case report	Surg. Case Rep. 2022 Nov; 8: 224	Original Article
27	Maeda, E., Tanakura, K., Tsuyama, N., et al.	形成外科	Unilateral late breast seroma after breast augmentation surgery associated with the use of an electrical muscle stimulation device	Int. J. Surg. Wound Care. 2022 Jun; 3: 46-49	Original Article

28	Maruyama, S., Okamura, A., Takeda, K., et al.	食道外科	ASO author reflections: Are fecal microbes associated with outcomes after esophageal cancer surgery?	Ann. Surg. Oncol. 2022 Nov; 29: 7458–7459	Others
29	Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., et al.	食道外科	ASO visual abstract: Fecal microbes associated with the outcomes after esophagectomy in patients with esophageal cancer	Ann. Surg. Oncol. 2022 Nov; 29: 7460–7461	Others
30	Miyaji, N., Miwa, K., Iimori, T., et al.	核医学部	Determination of a reliable assessment for occupational eye lens dose in nuclear medicine	J. Appl. Clin. Med. Phys. 2022 Aug (オンライン); 23 : e13713	Original Article
31	Morita, Y., Yoshio, T., Nakano, K., et al.	上部消化管内科	Emergent endoscopic submucosal dissection for a polypoid fibroadipose tumor accidentally disgorged from the mouth: An organ-preserving minimally invasive treatment	VideoGIE. 2023. Feb; 8: 50–52	Original Article
32	Ninomiya, H., Inamura, K., Mun, M., et al.	病院病理部	Relationship between pathologic T1 categories and pathologic factors affecting prognosis in pulmonary adenocarcinoma	JTO Clin. Res. Rep. 2022 Apr (オンライン); 3: 100293	Original Article
33	Nishie, N., Ohashi, M., Makuuchi, R., et al.	胃外科	Successful open radical gastrectomy for locally advanced or metastatic gastric cancer patients who suffered from coronavirus disease 2019 during preoperative chemotherapy: A report of three cases	Surg. Case Rep. 2022 Jun; 8: 124	Original Article
34	Nishimura, M., Nomura, H., Omi, M., et al.	婦人科	A case of tongue cancer manifesting from oral leukoplakia after long-term administration of pegylated liposomal doxorubicin	Oxf. Med. Case Rep. 2022 Apr (オンライン); 2022: omac042	Original Article
35	Nishio, M., Nishio, K., Reck, M., et al.	呼吸器内科	RELAY+: Exploratory study of ramucirumab plus gefitinib in untreated patients with EGFR-Mutated metastatic NSCLC	JTO Clin. Res. Rep. 2022 Apr (オンライン); 3: 100303	Original Article
36	Okamoto, T., Ikeya, T., Fukuda, K.	肝胆膵内科	Hybrid endoscopic submucosal dissection for anal canal fibroma	VideoGIE. 2022 Apr (オンライン); 7: 154–157	Original Article
37	Okamoto, T., Sasaki, T., Takahashi, Y., et al.	肝胆膵内科	Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) of the cystic duct	Clin. J. Gastroenterol. 2023. Feb; 16: 87–95	Original Article
38	Oki, R., Urasaki, T., Ueki, A., et al.	総合腫瘍科	A radiological complete response to pembrolizumab in a patient with metastatic upper urinary tract urothelial cancer and Lynch syndrome	IJU Case Rep. 2023. Jan; 6: 33–36	Case Report
39	Omichi, K., Inoue, Y., Mise, Y., et al.	肝胆膵外科	ASO visual abstract: Hepatectomy with perioperative chemotherapy for multiple colorectal liver metastases is the available option for prolonged survival	Ann. Surg. Oncol. 2022 Jun; 29: 3577	Others
40	Oyakawa, T., Fukumitsu, M., Ebihara, A., et al.	総合診療部	Relevance of non-bridging therapy with heparin during temporary interruption of direct oral anticoagulants in patients with cancer-associated venous thromboembolism.	Ann. Vasc. Dis. 2022 Jun; 15: 121–125	Original Article
41	Ozaki, Y., Tsurutani, J., Mukohara, T., et al.	乳腺内科	Data of programmed death-ligand 1 expression and VEGF: Nivolumab, bevacizumab and paclitaxel for HER2-negative	Data in Brief. 2022 Nov; 45: 108558	Original Article
42	Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., et al.	乳腺内科	The impact of obesity and endocrine therapy on the prognosis of premenopausal women with hormone receptor-positive breast cancer: A single-institute retrospective study	Cancer Rep. 2023. Feb; 6: e1695	Original Article
43	Sakurai, T., Mukai, T., Kawachi, H., et al.	大腸外科	Laparoscopic resection for a relapsed presacral epidermoid cyst penetrating the ischioanal fossa	Asian J. Endosc. Surg. 2022 Jul; 15: 656–659	Original Article
44	Sakurai, T., Yamaguchi, T., Noguchi, T., et al.	大腸外科	Short-term outcomes of intracorporeal versus extracorporeal anastomosis in laparoscopic surgery for right-sided colon cancer: A propensity score-matched study	Asian J. Endosc. Surg. 2023 Jan; 16: 14–22	Original Article
45	Sato, Y., Matsueda, K., Osawa, M., et al.	超音波診断・IVR部	Interventional management for postoperative arterial bleeding in gastrointestinal surgery	Int. J. Gastrointest. Interv. 2022 Nov; 11: 179–185	Review
46	Shirouchi, Y., Mishima, Y., Takayama, T., et al.	血液腫瘍科	Serum cell-free DNA concentration as a possible prognostic marker in newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma	Biomed. Res. 2022 Aug; 43: 99–106	Original Article
47	Takeda, Y., Mise, Y., Takahashi, Y., et al.	肝胆膵外科	ASO visual abstract: Limited prognostic value of KRAS for patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases.	Ann. Surg. Oncol. 2022 Apr; 29: 2392	Others
48	Takeuchi, K.	病院病理部	Idiopathic plasmacytic lymphadenopathy: A conceptual history along with a translation of the original Japanese article published in 1980	J. Clin. Exp. Hematop. 2022 Jun; 62: 79–84	Review
49	Tokura, J., Namikawa, K., Nakano, K., et al.	上部消化管内科	Clinicopathological characteristics of advanced gastric cancer after Helicobacter pylori eradication	JGH Open. 2022 Nov; 6: 833–838	Original Article

50	Ushida, Y., Sato, T., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	Conversion surgery for recurrent hepatic angiosarcoma after systemic chemotherapy with paclitaxel	Clin. J. Gastroenterol. 2022 Apr; 15: 427-432	Case Report
51	Ushida, Y., Inoue, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	ASO author reflections: What are the indications for conversion surgery for initially unresectable pancreatic cancer who received modified FOLFIRINOX or gemcitabine plus nab-paclitaxel? Is surgery really worthwhile after sufficient chemotherapy?	Ann. Surg. Oncol. 2022 Aug; 29: 5051-5052	Others
52	Wang, X., Kaneko, K., Arakawa, H., et al.	総合腫瘍科	Detection of BRCA1 pathogenic variant in a 24-year-old endometrial cancer patient: Risks of several hereditary tumor syndromes assessed by germline multigene panel testing	Case. Rep. Oncol. 2022 Aug; 15: 792-797	Case Report
53	Yamashita, K., Miyaji, N., Motegi, K., et al.	核医学部	Development of a new quantification method using partial volume effect correction for individual energy peaks in (111)In-pentetreotide SPECT/CT	Asia Ocean. J. Nucl. Med. Biol. 2022 Apr; 10: 126-137	Original Article
54	Yoshino, K., Osumi, H., Ito, H., et al.	消化器化学療法科	ASO author reflections: The role of CEA optimizing perioperative treatments for colorectal cancer with liver metastase	Ann. Surg. Oncol. 2022 Dec; 29: 8394-8395	Others
55	Yoshino, K., Osumi, H., Ito, H., et al.	消化器化学療法科	ASO visual abstract: Clinical usefulness of postoperative serum carcinoembryonic antigen in patients with colorectal cancer with liver metastases	Ann. Surg. Oncol. 2022 Dec; 29: 8396-8397	Others
56	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to A case of steroid-resistant cystitis as an immune-related adverse event during treatment with nivolumab for lung cancer, which was successfully treated with infliximab	IJU Case Rep. 2022 Nov (オンライン); 5: 524	Others
~					

25

4

計 56件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 ①人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書 ②公益財団法人がん研究会医学系研究倫理審査委員会標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回 (別途随時審査も有り)

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反マネジメントポリシー ・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反の管理に関する規約 ・ 利益相反委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 APRIN e-ラーニングプログラム (医学系研究者標準コース) : 2022年8月に受講 倫理指針改正に関する講習会 (外部講師を招いて実施) : 2022年9月に開催 ICRweb (e-ラーニング) : 2022年9月～11月に受講	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。また、各コースプログラムのローテーションを希望する医師は、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と学会専門医などの資格を有する指導医を複数名配置し、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

更に、各診療科のカンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	135人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	34年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	40年	
高野 利実	乳腺内科	部長	25年	
丸山 大	血液腫瘍科	部長	24年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	40年	
米瀬 淳二	感染症科 泌尿器科	部長	37年	
松本 禎久	緩和治療科	緩和ケアセンター長	24年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	25年	
吉野 公二	皮膚腫瘍科	部長	24年	
金尾 祐之	婦人科	部長	26年	
辻 英貴	眼科	部長	31年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	26年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	33年	
上野 貴之	乳腺外科	部長	31年	
阿江 啓介	整形外科	部長	30年	
矢野 智之	形成外科	部長	23年	
三谷 浩樹	頭頸科、耳鼻咽喉科	部長	35年	
宮北 康二	脳腫瘍外科、脳神経外科	部長	30年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	28年	
河内 洋	病理部	部長	26年	
寺嶋 克幸	麻酔科 集中治療部 救急部	部長	30年	
富塚 健	歯科	部長	37年	
寺内 隆司	画像診断部	画像診断センター長	37年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">① ICLS講習会② BLS講習会・研修の期間・実施回数<ul style="list-style-type: none">① 2022年7月9日、2022年10月29日、2023年2月25日② 2022年4月～2023年3月 30回・研修の参加人数<ul style="list-style-type: none">① 2022年7月：6名、2022年10月：6名、2023年2月：8名 計20名② 229人
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：がん医療従事者研修会・研修の期間・実施回数・参加人数<ul style="list-style-type: none">① 2022年10月 2日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（14人）② 2022年12月 3日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（12人）③ 2023年 2月11日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（12人）④ 2022年12月10日：薬剤師研修会第1回ハイブリッド形式（425人）⑤ 2023年 3月11日：薬剤師研修会第2回web形式（276人）⑥ 2023年 1月30日：看護師研修会web形式（222人）⑦ 2023年 2月18日：放射線腫瘍医研修会web形式（84人）⑧ 2023年 3月 4日：がんの薬物療法研修会web形式（85人）⑨ 2023年 3月20日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）職種別編 薬剤師（24人）⑩ 2023年 2月10日～3月10日：診療放射線技師研修会web形式（168人）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	佐野 武	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室	…病院日誌は、院長室、各診療科医局、処方せんは薬剤部。他、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、患者に係る入院経過の要約及び入院飲料計画書は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本については、診療情報管理室にて保管。 …診療録を病院外に持ち出す際の取り扱いについては、原則、禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術室	
		看護記録	IT推進課	
		検査所見記録	IT推進課	
		エックス線写真	IT推進課	
		紹介状	IT推進課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	…人事部で作成管理。
		高度の医療の提供の実績	先進がん治療開発センター	…先進医療の年度報告をファイル保管。
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課及び高難度新規医療技術管理部	…学術研究委員会の活動記録(議事録等)を保管。
		高度の医療の研修の実績	人事部	…人事部にてファイル保管。
		閲覧実績	各管理責任部署	…開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課	…電子カルテによるシステム管理
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	…医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。	
第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。	

	医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	…各現場からのIALレポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部
	第一号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	第二号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第四号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第五号	医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター
	第六号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課
			…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
			…院内感染対策委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
			…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。 …各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
			…医薬品安全管理責任者を配置。
			…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…薬剤部にてファイル保管。
			…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
			…医療機器安全管理責任者を配置。
			…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
			…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
			…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 …医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター …院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室 …インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 …診療情報管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプラメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター
他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術	医療クオリティマネジメントセンター		

	的助言の実施状況		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…患者相談室でファイル保管。 …監査コンプライアンス室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者が有する権限に関する状況	総務部	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。 …監査室でファイルにて保管。 …総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	佐野武	
閲覧担当者氏名	総務部 総務課 山崎周士	
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等	
閲覧の手続の概要		
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理のための指針の策定及び改訂並びに職員への周知 2) 医療安全に係る問題の調査および分析 3) 前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案及び実施 4) 前号の改善のための方策の職員への周知 5) 改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6) 入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認及び病院長への確認結果の報告 7) 前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8) その他、医療に係る安全管理のための業務</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 48 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1) 全体研修会：HBV再活性化完全克服を目指して 2022年5月31日（e-learning配信あり） 2) 医療安全研修会：新鎮静管理 2022年9月13日（e-learning配信あり） 3) 全体研修会：1999年12月28日 私たちは忘れないこの日を 2022年12月5日（e-learning配信あり） 4) 新入職員研修 24回（毎月1日、16日に実施） 5) 復職者研修 21回（都度開催）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 当事者又は発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。 2) RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼をおこなう。必要時には医療安全管理委員会へ上申する。 3) 各部署またはRM部会にて立案した改善策を基に医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。 4) 病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。 5) 改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価をおこなう。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 院内感染対策のための委員会等、院内感染対策の組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7) その他院内感染対策推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2) 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3) 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4) アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案 5) 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6) 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7) 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8) その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年34回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新入職員研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染管理、感染症診療について（1回） ■ 看護部新規看護師採用者オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染予防・対策（1回） ⇒ 標準予防策（1回） ■ 復職者、中途採用者（新採用者）オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染管理・感染症診療について/e-learning（12回） ■ 全体研修会 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 第1回「院内感染対策に関して」・「抗菌薬適正使用に関して」（1回） ⇒ 第2回「外科医療の質改善：手術部位感染防止対策に役立つサーベイランス」（1回） ■ 委託清掃スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 職業感染対策（3回） ⇒ 針刺し事例対応（2回） ■ 委託リネンスタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 職業感染対策（2回） ■ 委託警備スタッフ・設備整備スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 職業感染対策（4回） ■ 委託中材スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 職業感染対策（2回） ■ 委託物品管理スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 職業感染対策（2回） ■ 看護部感染対策委員会・リンクナース研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 紫外線照射システムによる環境消毒（1回） ⇒ 血管内留置カテーテル関連血流感染（1回） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備 2) 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価 	

- 3) 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載）
- 4) 院内感染対策マニュアルの整備
- 5) 職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応）
- 6) 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング
- 7) 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>● 医薬品安全管理研修会 研修内容：Hazardous Drugの取り扱いについて 開催日：令和4年9月5日 e-learning：令和4年9月8日～10月13日 参加延べ人数：658名</p> <p>● 病棟看護師への医薬品安全使用のための研修会 <input type="checkbox"/> 令和4年5月23日～7月29日 適切な薬剤投与のために：256名受講 <input type="checkbox"/> 令和5年2月14日～3月27日 医療用麻薬向精神薬の取り扱いについて：163名受講</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>(1) 手順書の見直し状況について 年1回見直しを行っている。今年度は、厚生局から発行されている「医薬品安全使用のための業務手順書」作成マニュアルに則り、全面改訂を行った。</p> <p>(2) 手順書に基づく業務の実施状況の確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟担当薬剤師は週1回、外来担当薬剤師は月1回、「医薬品安全使用のためのチェックリスト」を用いて状況を確認し、医薬品安全管理担当者へ報告する。 ・ 医薬品安全管理担当者は、医薬品安全使用のためのチェックリストをもとに報告書を作成し、医薬品安全管理責任者へ報告する。 ・ 医薬品安全管理責任者は、定期的に院内をラウンドし、手順書に基づく業務の実施状況を確認している。ラウンド時の指摘事項については、再ラウンドを行い改善状況を確認している。 ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会で医薬品安全使用に係る対策を検討し、必要に応じて医療安全管理委員会や病院運営会議、診療部長会議等で報告周知を行っている。 ・ 医薬品情報室担当薬剤師は、病棟担当薬剤師と連絡会議を開催し、医薬品安全使用の係る情報を共有している。病棟担当薬剤師は、情報のレベルに応じて、医師や看護師へ情報提供を行っている 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <p>* 未承認薬：0件</p> <p>* 適応外使用：</p> <p>① 抗がん薬：66件 S-1(12)、Abraxane/GEM(1)、APL完解導入(1)、CBDCA/VP-16(1) CBDCA+ETP療法(1)、CDDP/NVB(1)、CDDP+ADM療法(1)、CHOP(1) DOC/CPA(1)、GEM/CDDP(1)、GEM+nab-PTX(5)、modifiedFOLFIRINOX(1) RT-CDDP(1)、S-1/オキサリプラチン(1)、S-1/3wHER(1)、S-1/GEM(6) XELOX/Beva(1)、アナストロゾール錠1mg(5)、イリノテカン(1) カペシタビン(19)、インターフェロン/ニボルマブ(1)、オラパリブ(3) オラパリブ/アビラテロン(1)</p> <p>② irAE等の副作用対策(支持療法)：31件</p>	

シクロホスファミド(3)、リツキシマブ(1)、リユープロレリン(2)
グラニセトロン(1)、タクロリムス(1)、デキサメタゾンエリキシル(7)
インフリキシマブ(3)、ミコフェノール酸モフェチル(6)、免疫グロブリン(1)
ベドリズマブ(1)、ペグフィルグラスチム(1)、インフリキシマブ(4)

③その他（一般薬等）：136件

レボフロキサシン点眼(1)、メトロニダゾール(4)、塩化カリウム(5)
乳酸ビペリデン(1)、アムロジピン(1)、リバーロキサバン(3)、脂肪乳剤(1)
オクトレオチド(16)、オクトレオチド(LAR)(1)、リバーロキサバン(1)
エチレフリン(2)、エドキサバン(8)、アピキサバン(5)、ガバペンチン(1)
硝酸イソソルビド(5)、アスピリン(1)、ブチルスコポラミン(3)
エリスロマイシン(2)、ケタミン(4)、アンチトロンビンIII(1)
コルヒチン(3)、ジアゼパム(1)、プレドニゾロン(1)、セフェピム(2)
メトプロロール酒石酸塩(8)、アダパレン(13)、クロベタゾール(1)
アスピリン(4)、バラシクロビル(1)、溶連菌抽出物注射用(3)
グリコピロニウムノルホモテロールフマル(6)、ラコサミド(1)
乾燥濃縮人血液凝固第8因子(3)、葉酸(1)、クロピドグレル(1)
プロマゼパム(1)、ミノサイクリン(2)、イミキモド(1)
メキシレチン(1)、ラクツロース(1)、リドカイン(11)、ミルタザピン(3)
ベタメタゾン(1)

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - * PMDAやメディナビ、SAFE-DIに登録し採用医薬品（非採用医薬品含む）の情報収集
 - * 学会誌や業界誌（日刊薬業、メディファックス等）の定期購読による情報収集
 - * 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集
 - * 近隣連携施設（病院、保険薬局含む）との定期面談による情報収集
 - * 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年54回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 人工呼吸器の取扱いについて ・ 血液浄化装置について ・ 除細動器について ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いについて ・ リニアックについて ・ 診療用放射線照射装置について ・ 新規導入医療機器の取扱いについて 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・ 人工呼吸器 ・ 血液浄化装置 ・ 除細動器 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 ・ 診療用放射線照射装置 ・ 医用X線CT装置 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：前年度使用事例無し ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 安全情報については行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ通知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時、情報を職員に提供している。 ・ 院内で発生したIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して院内全体に情報発信して注意喚起を行っている。 ・ 不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告し、改善を求める。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めており、委員会の運営の中で、委員会委員として参加している医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として、医療安全管理部ならびに院内感染対策部を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>(1) 医薬品情報管理室には専従薬剤師2名、専任薬剤師1名を配置し、情報の袖手整理周知及び周知状況の確認を実施している</p> <p>(2) 情報の収集と整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PMDA メディナビによる電子添文情報、自主回収情報、RMP情報の収集 ・学会誌業界紙等の定期購読 ・製薬会社担当者との面談による情報収集 ・医薬品管理室の担当者は病棟担当薬剤師等による副作用発生時の情報の把握及び報告を実施 <p>(3) 情報の周知と確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のレベル分類を大内、レベルに応じた情報発信と確認を実施している レベルA（イエローレター、ブルーレター、リコール情報等） レベルB（医薬品安全性情報、適応症追加、禁忌事項等） レベルC（採用医薬品の新規変更情報、医薬品供給関連情報） <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>(1) 未承認薬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験/臨床研究 → IRB（臨床研究等倫理審査委員会）で審議、承認 ・試薬等を用いる特殊院内製剤 → 薬事審議委員会で審議、承認。その後、未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認。 ・患者の持込み等（例：入院時の薬剤師による持参薬確認等で把握） → 使用に際しては未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認 	

(2) 適応外使用

- ・希少がん等に対する治療 → レジメン審査委員会（化学療法部運営委員会内）での審議、承認。未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認。
- ・公知申請及び薬事承認情報 → 医事課/薬剤部医薬品情報管理室で把握、未承認新規医薬品等管理部に報告。
- ・副作用報告 → 適応外使用における副作用情報を収集、関連情報について未承認新規医薬品等管理部に報告。
- ・その他 → 薬剤師による処方鑑査時や病棟カンファ等で把握した情報(内容)を医薬品情報管理室へ報告。未承認新規医薬品等管理部に報告。

(3) 禁忌（疾患禁忌、併用禁忌等）

- ・併用禁忌（相互作用） → オーダーリングシステムの一次チェック及び薬剤部門システムの二次チェックで把握。
- ・疾患禁忌 → 薬剤師による処方監査時や病棟カンファで把握。

(4) 未承認新規医薬品等管理部に部門長をおき、以下の業務を実施

- ・未承認新規医薬品等の使用状況の把握（月1回）
- ・病院 QMC 運営委員会での病院長への定期報告（月1回）
- ・未承認等の医薬品使用の記録の保管
- ・担当者の指名の有無（・無）
- ・担当者の所属・職種：（所属：薬剤部，職種：薬剤師）

* 各病棟等担当者を医薬品安全管理担当補助者に指名し、担当者と連携を取る体制としている。

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
-----------------------------	--

・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（・無）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：患者への医療の説明時に用いる文書については、規程に基づき設置された IC 委員会で審査及び修正され、委員会承認を得た文書のみ説明文書として電子カルテに格納される。同席者および説明項目等、説明文書に用いる項目については、医療安全マニュアルで定めている。

説明の是非等の確認は、診療情報管理委員会にて行う診療情報監査項目に含められており IC 委員会による監査を代行している。監査結果は診療科部長に連絡し、病院管理者連絡会及び IC 委員会にて結果報告し、指導を行っている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理や記載内容の確認及び指導は、診療情報管理委員会が統括し、IC委員会と診療情報管理室および関連する院内各部が連携して実施した。診療情報管理委員長は診療情報管理責任者が就いている。</p> <p>診療情報監査は、委員長1名と医師委員3～6名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤師による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部による看護記録監査、診療情報管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は全診療科1ヶ月分の全退院患者の診療記録を対象とする。質的監査は、毎月当該診療科をしてつきに退院患者から3～6名を量的監査結果より抽出して実施する。またIC委員会の代行として、説明同意の内容記録についても監査する。</p> <p>上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長と診療科診療情報管理委員会委員医師へ報告し、不備については改善を勧告し、月次開催される病院管理者連絡会議とIC委員会報告する。特に問題のある診療記録内容については、再監査を行い診療情報管理委員会委員長が、当該医師・職員に面談し口頭指導する。看護記録監査は看護部より手順により全看護師が参加して行っている。</p> <p>質的監査（医師）</p> <p>記載原則</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載された順に従って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる 診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている 適切にSOAPを用いて記載されている 外国語・略語は適切に使用されており、誤字脱字は認められない 事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない 医師・スタッフの私的メモや備忘録など不適切な表現がない <p>ICの記載</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なタイミングでICが実施され、記載されている 病名・病態の説明がされている 治療や検査の目的・必要性の説明がされている 治療や検査の内容の説明がされている 期待される効果の説明がされている 	

予測される毒性等の説明がされている

傷病名の記載

正しい病名登録がされている

入院の契機となった主病名・副病名が的確である

入院期間

最低、週1回の部長（部長代行者）回診がおこなわれている

処置・処方指示記載・変更・訂正は正しく行われている

退院サマリー

正確かつ他者から見て理解できる内容である

投薬時の記載

投薬時に正しく診療内容が記載されている

質的監査（薬剤部）

記載原則

患者指導の都度、遅滞なく速やかに記載されている

適切なプロブレムが挙げられている

SOAP形式で記載されている

“日本語で記載されており外国語・略語は使用していない”

コピー&ペーストは多用されていない

事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない

誤字・脱字が認められない

私的メモや備忘録は記載されていない

感情的な記載など不適切な表現がない

“薬剤管理指導

算定の記録 薬剤管理指導実施の文言がある

“プロブレムリストを用いている

抗血栓薬がある場合はテンプレートをを用いて評価している

“手術患者への記載内容

手術日、術式の記載がある

術前中止薬の有無、薬剤アレルギー、既往歴の記載がある

パスを使用するにあたっての注意すべき疾患の有無

パス説明実施、理解度、薬剤についての評価が記載されている

“がん化学療法患者への記載

経過日、検査値、バイタル、糖尿病、B型肝炎の抗体・抗原についての記載がある
がん患者指導テンプレートを用いている
Grade 2以上の有害事象について評価されている

“麻薬加算について

オピオイドの服薬状況について記載がある
NRS、疼痛部位について記載がある

“退院時指導について

退院処方説明実施と理解度の記載がある
術前中止薬の再開の確認がされている

質的監査（栄養管理部）

栄養指導

栄養指導実施の記録（指示内容、実施時間）

栄養チーム

初回栄養スクリーニングシートの作成
カンファレンスの記録（参加者、計画案）
栄養治療実施計画の作成

量的監査（診療情報管理員）

入院診療計画書・診療記録・手術記録・麻酔チャート・手術看護記録・退院サマリー・
看護サマリー・退院支援計画書

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（5）名
うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち臨床工学技士：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1) 専従の医師：看護師・薬剤師による医療安全に関する職員の意識の向上や指導のための教育・研修の実施
- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査並びに資料作成
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内4か所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施（中途採用を含む）
- 11) 医療安全監査委員会の実施
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）

・活動の主な内容：

- 1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。
- 2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認する事。
- 3) 病院長への定期的な報告。

4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

未承認新規医薬品等管理部、およびその下部組織として未承認新規医薬品等評価委員会を設置している。

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (21 件)、及び許可件数 (20 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (・ 無)
- ・ 活動の主な内容：未承認新規医薬品等管理部では

- 1) 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用の適否、使用条件等について意見を求め、未承認新規医薬品等の院内で定めたリスク分類を踏まえ、使用の適否、使用条件等を決定する。
- 2) 定期的な診療録等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況の確認
- 3) 未承認新規医薬品等の使用患者における重篤な有害事象及び死亡症例の対応
- 4) 病院長への定期的な報告、遵守状況、有害事象・死亡報告の対応では随時報告
- 5) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 445 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 185 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部で

は報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有しており、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名： 日本大学医学部附属板橋病院 ）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：日本大学医学部附属板橋病院 ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

①「M&Mカンファレンス開催に関しては、「M&Mを包含する形でCPCを年4回開催」しており、単独開催が望まれる」との助言に対して、2023/5/18にM&Mカンファレンスを単独で開催した。

②「医療機器の一元管理に関して、全ての医療機器を病院で保守管理する必要はないと思われるが、何か工夫をして一元管理を目指していただきたい」との助言に対して、ペースメーカーやICDに関して業者からの技術協力を得て実施しているが、今後は検査部門との連携も図り、対応や一元管理の体制を整備していく方針とした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

専任の相談員が、多職種で構成された患者相談室会議や、適切な部署と連携を取りながら問題解決に努めている。

緊急事態時には、院長への速やかな報告手段を取っている。

多職種メンバー：患者相談室室長、副院長、医療安全管理部部長、GRM看護師長、副師長、GRM薬剤師、MSW、医事部長、医事課課長（入院・外来）、医療クオリティーマネージメントセンター事務、警備員（警察OB）

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

全体研修会（2回）

第1回「HBV再活性化完全克服を目指して-基本から院内対策まで-」※5月31日開催

第2回「1999年12月28日私達は忘れないこの日を」※12月5日開催

医療安全研修会 新鎮静管理 2022年9月13日開催

新入職員研修（24回）毎月1日と16日に開催

復職者（21回）都度開催

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名： 病院長 佐野 武

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2022年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2023年2月3日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名： 副院長/乳腺センター長/医療クオリティマネジメントセンター長 大野真司

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2022年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2023年2月24日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名： 院長補佐/薬剤部長/麻薬管理責任者 山口正和

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2022年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2023年2月3日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名： MEセンター長/頭頸科部長 三谷浩樹

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2022年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2023年1月26日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

【受審日】2022年5月18日・19日・20日

【受審種別】一般病院3

【経過と結果】

■2022年9月27日：補充的審査 受審

■2022年11月4日：「一般病院3」…条件付認定

(認定期間：2022年2月19日～2023年6月30日)

【評価事項】

医療安全管理部の設置、専従担当者の配置など、医療安全に関する体制が整備されている。インシデント報告などの院内情報や院外の安全情報収集・分析し、組織横断的に再発防止策を検討しており、事故防止に向けた改善活動が継続的に行われている。

患者・部位・検体などの誤認防止対策が確実に行われている。口頭指示や検査データ・パニック値の伝達ルールの徹底、画像・病理診断レポートの未読対応など、情報伝達エラー防止対策を実践している。抗がん剤などのハイリスク薬の使用に際し、安全な使用に向けた対策を実践している。転倒・転落やせん妄のリスクが評価され、それに基づく防止対策が実践されている。院内緊急時対応コールや、急変前兆候を捉えて対応する仕組みがあり、全職員を対象に心肺蘇生の訓練が行われている。尚、今回の審査では条件付認定となり、下記の3項目について指摘を受け、2023年7月5日確認審査を受審した。

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

指摘事項①

SSI及びデバイス関連サーベイランスの拡大に向け、貴院が補充的審査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

SSIサーベイランスについて、以前より継続している大腸外科に加え、大半の外科系診療科を段階的に対象として追加している。

指摘事項②

医薬品の禁忌・適応外使用において、説明文書の内容、管理部による把握・確認について貴院が補充的調査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

対象となる医薬品についてリスク分けを行い、リスク分類の規定に従って使用時の報告書の提出を求めモニタリングを実施している。また、IG委員会との連携を密にし説明文書の管理等を厳密に行っている。

指摘事項③

診療記録の量的点検項目を拡充した上で、全退院患者に対する点検を確実に実施してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

量的診療録監査は、全退院患者について、診療情報管理室にて以下の8項目について量的診療録監査を毎日行っている。項目は、毎日のカルテ記載の有無・手術記録の有無・麻酔記録の有無・看護手術記録の有無・入院診療計画書の有無・退院サマリの有無・看護サマリの有無・退院支援計画書である。量的診療録監査結果は、診療情報管理委員会において審議し、各部署診療科にフィードバックし、病院管理者連絡会で報告している。

■2023年7月5日：確認審査 受審

■2023年9月1日：「一般病院3」…認定留保。6ヶ月後に再審査受審予定。

【評価事項】

確認審査では、指摘事項となった①～③の審査が行われ、②・③については、改善策に継続的に取り組み、定着が図られていることが確認された。

指摘事項①については、本審査での指摘を受けてから、SSI及びデバイス関連サーベイランスの拡大に継続的に取り組んでいることが確認され、SSIサーベイランスは、従来から実施していた大腸外科に加え、2022年12月から肝胆膵外科および婦人科、2023年2月から頭頸科、4月から食道外科、5月から泌尿器科に対象を拡大し実施していることが確認された。

しかしながら、CAUTIサーベイランスについては、2024年4月からの全病棟での実施に向けシステム開発中であり、定着が図られていないことが確認された。

【指摘事項】

全病棟対象のCAUTIサーベイランスを早急に開始し、継続的に実践してください。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

がん研究会有明病院ホームページ掲載

・評価を踏まえ講じた措置

【措置の内容】

2023年10月分よりのサーベイランス開始を目安に準備中。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資質・能力等 4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有している者 5. 医師免許を有していること <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア（デスクネッツ）で周知 デジタルサイネージで周知 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法：閲覧の申し込みがあれば対応 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。 			
合議体の委員名簿（病院運営会議）			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器化学療法科部長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
奥村 栄		医師	院長補佐/中央手術部長
高橋 祐		医師	院長補佐/肝胆膵外科部長
高野 利実		医師	院長補佐/乳腺内科部長
陳 劉松		医師	院長補佐/外来化学療法部長
志賀 太郎		医師	院長補佐/総合診療部長
布部 創也		医師	院長補佐/消化器外科胃外科部長
丸山 大		医師	院長補佐/血液腫瘍科部長
山口 正和		薬剤師	院長補佐/薬剤部長
笹平 直樹		医師	院長補佐/消化器内科肝・胆・膵内科部長
山本 晃史		総合職	院長補佐/人事部長/総務部長
竹山 聡		総合職	医事部長
田中 正典		総合職	健診センター運営部長

合議体の委員名簿（経営会議）

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
浅野 敏雄	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	常務理事/研究本部長
佐野 武		医師	常務理事/病院長(病院本部長)
河本 上総		総合職	理事/経営本部長
藤田 直也		研究員	化療センター所長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科・ゲノム診療部部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器科学療法科部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容

第10条 病院本部長（本部長代行）は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。

2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。

3 病院長（病院長代行）は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。

5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。

6 センター長は、病院長の命を受けて、それぞれのセンターの業務を掌理する。

7 副センター長はセンター長を補佐するものとし、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けたときは、副センター長が職務を代行する。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
- ・ マネジメント研修（管理職のみ）

日時：2022年9月4日（日）、

対象者：医師

日時：2022年11月5日（土）

対象者：研究員・看護師・事務職員・技師等

- ・ 人事考課（中間評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2022年8月23日（火）～9月30日（金）

対象者：管理監督者全員

- ・ 人事考課（年度末評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2023年2月16日（木）～3月31日（金）

対象者：管理監督者全員

在宅勤務実施にあたっての研修（e-ラーニング）

日時：随時実施

全職員 在宅勤務を実施する管理監督者は全員必須

- ・ 医師管理職研修

日時：2022年9月4日（日）、

対象者：医師管理職（部長、副院長、医長）

- ・ 多職種管理職研修

日時：2022年11月5日（土）

対象者：医師以外の管理職（看護師・薬剤師、その他の医療従事者、事務職、研究職）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療にかかわる安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。</p> <p>3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>当院ホームページにて公表</p> <p>https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部教授	○	医療安全に関する業務及び研究への従事経験を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（医師）
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育研究センター教授		法曹資格を有し、医療安全に関する研究を行っているため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（弁護士）
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めており、医療を受ける者の立場の代表となりうるため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2（医療を受ける者）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
 - 監事会による監査
 - 理事会への監事の出席
 - 外部監査法人による監査の実施
 - 内部監査室による監査の実施
 - がん研なんでも相談所の設置及び運営
 - コンプライアンス委員会の開催

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

- ・ 公表の方法
 - 閲覧等の申込みがあれば対応

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月1回開催（8月以外）し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況（年6回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）（年6回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 公表の方法：閲覧の申込みがあれば、対応。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
浅野 敏雄	(公財)がん研究会 理事長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
野田 哲生	(公財)がん研究会 常務理事・研究本部本部長・がん研究所所長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病院長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
河本 上総	(公財)がん研究会 理事・経営本部本部長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
石岡 千加史	東北大学大学院医学系研究科 教授／東北大学病院副病院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
市川 秀夫	(株)レゾナックホールディングス 相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊藤 かつら	(前)日本マイクロソフト株式会社 執行役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス(株) 特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 名誉顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
柿木 厚司	JFE ホールディングス(株) 代表取締役社長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
工藤 泰三	日本郵船(株) 特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
國土 典宏	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
齊藤 光江	順天堂大学医学部乳腺腫瘍学講座 特任教授		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
広瀬 道明	東京ガス(株) 相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松田 美紀子	(前)慶應義塾大学病院 事務局長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
宮園 浩平	東京大学大学院医学系研究科応用病理学 卓越教授		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
柳井 準	三菱商事(株) 顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">医療安全マニュアルへの掲載及び配布入職時研修会での共有・院内グループウェア (デスクネット) への掲載